

R1703

H99



始



正 誤 表

皇紀(月)	一一三七(十)	一一四五(〇)	一二五二(國十一)	一三二八(國二)	一三四六(十一)	一三六一(二)	一四二八(國七)	一四三二(國四)	一四六七(國十)	一五〇二(七)	一五一八(十二)	一五一九(五)	一五三八(國四)	一五四五(六)	一五四六(十)	一六七六(四)	一六八六(五)	一六九九(二)	一七〇六(三)	
誤	止由氣儀式帳	止由氣儀式帳	東 倭 主 廣	齊 倭 主 廣	泉 內 親 王 宮	泉 內 親 王 宮	文 宜 王	六 考 王	字 代 考 王	元 享 釋 書	熊 野 神 書	主 丹 生 川 柱 神	〇 丹 生 川 柱 神	〇 賀 茂 上 柱 神	〇 長 門 上 柱 神	〇 常 陸 門 上 柱 神	看 スル	弗 スル	神 院	華 山 院
正	止由氣宮儀式帳	止由氣宮儀式帳	東 倭 王 漢	齊 倭 王 漢	泉 內 親 王 宮	泉 內 親 王 宮	文 宜 王	六 考 年 ス 王	字 代 考 年 ス 王	元 享 釋 書 幡	熊 野 神 書 幡	主 丹 生 川 柱 神	〇 丹 生 川 柱 神	〇 賀 茂 上 柱 神	〇 長 門 上 柱 神	〇 常 陸 門 上 柱 神	看 スル	弗 スル	神 院	華 山 院
皇紀(月)	一七一(十二)	一七三一(〇)	一七三二(二)	同(五)	一七三四(國六)	一七四七(四)	一七五一(八)	一七七三(四)	一七八九(二)	一八二〇(國十二)	一八四〇(十一)	一八四九(十二)	一八五〇(二)	同(八)	一八五八(八)	一八七二(國十一)	一八八三(國五)	一八九七(六)	一九二四(十二)	
誤	法 殿 清 成	法 殿 清 成	及 領 掌 寺 掌	及 領 掌 寺 掌	入 園 領 掌 寺 掌	入 園 領 掌 寺 掌	御 入 園 領 掌 寺 掌	新 御 入 園 領 掌 寺 掌	破 御 入 園 領 掌 寺 掌	抱 御 入 園 領 掌 寺 掌	狼 御 入 園 領 掌 寺 掌	羅 御 入 園 領 掌 寺 掌	三 御 入 園 領 掌 寺 掌	陸 御 入 園 領 掌 寺 掌	三 御 入 園 領 掌 寺 掌	權 御 入 園 領 掌 寺 掌	高 御 入 園 領 掌 寺 掌	尊 御 入 園 領 掌 寺 掌	讓 御 入 園 領 掌 寺 掌	
正	法 殿 清 成	法 殿 清 成	及 領 給 沒 成	及 領 給 沒 成	入 園 領 給 沒 成	入 園 領 給 沒 成	御 入 園 領 給 沒 成	新 御 入 園 領 給 沒 成	破 御 入 園 領 給 沒 成	狗 御 入 園 領 給 沒 成	狼 御 入 園 領 給 沒 成	罷 御 入 園 領 給 沒 成	三 御 入 園 領 給 沒 成	陸 御 入 園 領 給 沒 成	三 御 入 園 領 給 沒 成	推 御 入 園 領 給 沒 成	高 御 入 園 領 給 沒 成	尊 御 入 園 領 給 沒 成	讓 御 入 園 領 給 沒 成	

30.9.23

R 170.3
H99

皇紀二千六百年記念



神祇史年表 上卷



兵庫縣神職會藏版

天宮藏

天宮藏

天宮藏

敬神

敬神

昭和辛巳七月

平沼騏書





王化之

鴻基

昭和辛巳七月

兵庫縣知事坂下秋



序

紀元二千六百年を迎ふるに方り、國運隆々として世界に菴み國を擧げて悠久なる國體の崇嚴と國史の尊嚴とに感銘し、偉大なる皇祖肇國の皇猷を景仰し奉らざるものは無かつた。就中本會は惟神の大道を奉じ國家の宗祀たる神社に奉仕する職司の團體として一層その感激を強くするところあり、佳歲を記念し眞に皇國に寄與し奉るに足るべき不朽の事業を起さんことを志し、遂に神祇史年表の編纂を發企したのである。

從來國史年表の世に現はれたるもの其數決して尠くはないが、孰れも神祇に關する記述が極めて疎薄であり、我國體及國民精神の淵源をなす神祇史に關する年表に至つては寡聞未だその發刊を聽かないのである。かくの如きは洵に現代斯學の大なる缺陷といはねばならない。

この編纂によつて惟神大道發耀の源泉を啓き、聊か皇國に貢獻せんと欲したのである。

固より斯の事業たるや、遠く國史に覺め廣く典故に稽へ、精しく舊記に探ぬる等極めて慎重を要すべくその完成にはあらゆる困難と勞苦を伴ふべきも、萬難不折の熱意を以て所期を達成せしむることを誓ひて此の議を決したのであつた。かゝる機しも縣下尼崎市村熊野神社々掌上村爲典氏が、既に夙くこゝに着眼し、昭和六年以來孜孜として研究を重ね、專念編纂に従事せらるる事を仄聞し、其稿を披閱するに資料撰擇の嚴正、編纂記述の懇切、研究態度の忠實と熱誠は深く認むるに足るものがあつた。こゝに於て理事

會はその稀なる篤志に共鳴し、氏を擧げて編輯囑託としその事業を續行せしむると共に理事縣社西宮神社社掌吉井良尙氏に囑してその監修を爲すこととした。

爾來極めて嚴密なる査覈修訂を重ね且記事の出典典據をも注記したる上、猶京都帝國大學講師魚澄惣五郎氏の校閲を乞うて萬全を期し、こゝに漸くその上巻を出版するに至つたのである。而して本書の編纂に着手し稿の略整備するに至りて時の内務大臣兼神祇院總裁平沼騏一郎閣下に具狀したるに、特にこの擧を讃せられ、國務極めて多端なる中に本書の爲に題字を賜はり、本會總裁兵庫縣知事坂千秋閣下も亦題字を賜はり卷頭光華を放つことを得たのである。

本書を剞劂に附するに至る迄の間、編輯關係諸氏が時局下繁劇の中に於て銳意事に當り檢覈校理日夜を別たざる力勉の辛勞は實に謝辭を知らざる次第である。

幸にしてこの貴重なる好著を成し得たることは衷心の歡喜之に過ぐるものはない。誠に絶好の記念事業であり、昭和神祇學界の慶事たるのみならず、皇道日本の現代各社會に裨益する處蓋し尠少なざること堅く信ずるものである。猶これが爲に終始多大の犠牲を拂はれたる縣下神職其他の各位に滿腔の謝意を表し、併せて前理事寺井種長氏の紹介に依り印刷について格外の便宜を與へられたる大阪天滿宮文庫講に深厚なる感謝をさぐるものである。こゝにその梗概を述べて序とする。

昭和十六年八月

兵庫縣神職會長

西 井 一 孝

凡 例

- 一、本書ハ上下二卷ヨリ成リ、皇國固有ノ神祇ニ關スル史實ヲ編年體ニ敘述シ、併テ國史ノ綱文ヲ記載シ、我ガ民族ノ神祇奉齋ノ史實ト時代思潮トヲ輯覽セシムベク編纂セリ。
- 一、本書ハ神祇史研究年表トモ謂フベク、叙スルニ簡明ヲ旨トシ、日次ヲ略シ、典據書名ヲモ一書ニ止メタリ、欄ヲ數欄ニ割シ、且研究欄ヲ設ク、看者宜シク本書ヲ直接引用スルニ止マラズ、更ニ典據文獻ヲ檢索シ、偏ニ研鑽闡明セラレムコトヲ望ム。
- 一、本書記載ノ事項ハ神武天皇ヨリ平安（弘仁）時代マデハ主トシテ六國史ニ據リ、平安（藤原）時代ヨリ室町時代マデハ史料綜覽ニ據リ、旁ラ神祇關係ノ諸書ヲ參考採録シテ上卷トナセリ。
安土桃山時代以降ハ附録ト共ニ下卷ニ收ム。
- 一、恒例祭儀ニ互ルモノハ主要部分ノミ掲ゲ他ハ總テ下卷附録ニ一括掲載ス。
- 一、神祇史事項ニ附シタル（ ）印書名ハ書名略符索引ニヨツテ檢索スベシ。
- 一、本書ニ用ヒタル符號左ノ如シ。
項頭ノ數字ハ月ヲ、○ハ天皇御宇、○ハ此ノ歲、○ハ同月、●ハ神祇史年表下卷ヲ示ス。

一、神祇史年表下巻並ニ各種附録ニ就テハ下巻出版ニ際シ同巻頭ニ凡例ヲ掲ゲ。
一、編者素ヨリ淺學菲才、而カモ公務ノ餘暇自ラ揣ラズ此ノ編纂ニアタル、顧ミテ忤怩タルヲ覺ユ、其ノ内容ニ於テ其表現ニ於テ適當ナラザルモノ無キヲ保セス、偏ニ大方諸彦ノ叱正ヲ仰グ。殊ニ校正ハ及ブ限努力シタレド猶魯魚ノ誤コレアラム、何レモ機ヲ得テ改訂ヲナサント欲ス、希クハ示教ヲ垂レ給ハンコトヲ。

一、本書編成ニアタリ讀史備要、國史研究年表、日本讀史年表、其他各種ノ年表ニ負フ所多シ、編纂ニアタリテハ魚澄惣五郎、吉井良尙兩先生ノ御援助ヲ得ルコト洵ニ大ナリ、又藤里好古氏ヲ勞スルコト尠カラズ、併セテ各位ニ深厚ノ謝意ヲ表ス。

昭和十六年九月

編者 上村 爲典

目次

御 歴 代	一
年 號 索 引	五
書 名 略 符 索 引	一〇
本 文	一—四九三
附 載	一

御 歷 代

第 十 六 代	第 十 五 代	第 十 四 代	第 十 三 代	第 十 二 代	第 十 一 代	第 十 代	第 九 代	第 八 代	第 七 代	第 六 代	第 五 代	第 四 代	第 三 代	第 二 代	第 一 代
仁 德 天 皇	應 神 天 皇	仲 哀 天 皇	成 務 天 皇	景 行 天 皇	垂 仁 天 皇	崇 神 天 皇	開 化 天 皇	孝 元 天 皇	孝 靈 天 皇	孝 安 天 皇	孝 昭 天 皇	懿 德 天 皇	安 寧 天 皇	綏 靖 天 皇	神 武 天 皇

六 六 五 五 五 四 三 三 二 一 一 二 九 七 一

第 三 十 二 代	第 三 十 一 代	第 三 十 代	第 二 十 九 代	第 二 十 八 代	第 二 十 七 代	第 二 十 六 代	第 二 十 五 代	第 二 十 四 代	第 二 十 三 代	第 二 十 二 代	第 二 十 一 代	第 二 十 代	第 十 九 代	第 十 八 代	第 十 七 代
崇 峻 天 皇	用 明 天 皇	敏 達 天 皇	欽 明 天 皇	宣 化 天 皇	安 閑 天 皇	繼 體 天 皇	武 烈 天 皇	仁 賢 天 皇	顯 宗 天 皇	清 寧 天 皇	雄 略 天 皇	安 康 天 皇	允 恭 天 皇	反 正 天 皇	履 中 天 皇

九 九 八 八 五 五 三 三 三 三 三 六 六 七 七 五 五 四

第三十三代	推古天皇	長元 長曆 長久 寬德	一九三
第三十四代	舒明天皇	寬德 永承 天喜 康平 治曆	一九五
第三十五代	皇極天皇	治曆 延久	一九九
第三十六代	孝德天皇	延久 承保 承曆 永保 應德	二〇一
第三十七代	齊明天皇	應德 寬治 喜保 永長 承德	二〇五
第三十八代	天智天皇	康和 長治 嘉承 永長 承德	二〇九
第三十九代	弘文天皇	嘉承 天仁 天永 永久 元永	二一四
第四十代	天武天皇	保安 天治 大治 天承 長承	二一八
第四十一代	持統天皇	保延 永治 天養 久安 仁平	二二〇
第四十二代	文武天皇	久壽 保元	二二六
第四十三代	元明天皇	保元 平治 永曆 應保 長寬	二二七
第四十四代	元正天皇	永萬 仁安	二二九
第四十五代	聖武天皇	仁安 嘉應 承安 安元 治承	二四〇
第四十六代	孝謙天皇	治承 養和 壽永	二四七
第四十七代	淳仁天皇	元曆 文治 建久	二五二
第四十八代	稱德天皇	建久 正治 建仁 元久 建永	二六二
第四十九代	光仁天皇	承元 建曆 建保 承久	二七二
第五十代	桓武天皇	承元 建曆 建保 承久	二七七
第五十一代	平城天皇	大同	二七三
第五十二代	嵯峨天皇	大同 弘仁	二七三
第五十三代	淳和天皇	弘仁 天長	二七六
第五十四代	仁明天皇	天長 承和 嘉祥	二七七
第五十五代	文德天皇	嘉祥 仁壽 齊衡 天安	二八四
第五十六代	清和天皇	天安 貞觀	二八八
第五十七代	陽成天皇	貞觀 元慶	二九〇
第五十八代	光孝天皇	元慶 仁和	二九四
第五十九代	宇多天皇	仁和 寬平	二九六
第六十代	醍醐天皇	寬平 昌泰 延喜 延長	一〇〇
第六十一代	朱雀天皇	延長 承平 天慶	一〇六
第六十二代	村上天皇	天慶 天曆 天德 應和 康保	一〇七
第六十三代	冷泉天皇	康保 安和	一〇九
第六十四代	圓融天皇	安和 天祿 貞元 天元	一一五
第六十五代	花山天皇	永觀 寬和	一二九
第六十六代	一條天皇	寬和 永延 永祚 正曆 長德	一三〇
第六十七代	三條天皇	長保 寬弘 長和	一三六
第六十八代	後一條天皇	寬弘 長和 治安 萬壽 長元	一三八

第六十九代	後朱雀天皇	長元 長曆 長久 寬德	一九三
第七十代	後冷泉天皇	寬德 永承 天喜 康平 治曆	一九五
第七十一代	後三條天皇	治曆 延久	一九九
第七十二代	白河天皇	延久 承保 承曆 永保 應德	二〇一
第七十三代	堀河天皇	應德 寬治 喜保 永長 承德	二〇五
第七十四代	鳥羽天皇	康和 長治 嘉承 永長 承德	二〇九
第七十五代	崇德天皇	嘉承 天仁 天永 永久 元永	二一四
第七十六代	近衛天皇	保安 天治 大治 天承 長承	二一八
第七十七代	後白河天皇	保延 永治 天養 久安 仁平	二二〇
第七十八代	二條天皇	久壽 保元	二二六
第七十九代	六條天皇	保元 平治 永曆 應保 長寬	二二七
第八十代	高倉天皇	永萬 仁安	二二九
第八十一代	安德天皇	仁安 嘉應 承安 安元 治承	二四〇
第八十二代	後鳥羽天皇	治承 養和 壽永	二四七
第八十三代	土御門天皇	元曆 文治 建久	二五二
第八十四代	順德天皇	建久 正治 建仁 元久 建永	二六二
第八十五代	仲恭天皇	承元 建曆 建保 承久	二七二
第八十六代	後堀河天皇	承元 建曆 元仁 嘉祿 安貞	二七七
第八十七代	四條天皇	寬喜 貞永 元仁 嘉祿 安貞	二七三
第八十八代	後嵯峨天皇	貞永 天祿 文曆 嘉禎 曆仁	二八四
第八十九代	後深草天皇	仁治 寬元	二八九
第九十代	龜山天皇	寬元 寶治 建長 康元 正嘉	二九二
第九十一代	後宇多天皇	正元 文應 弘長 文永	二九八
第九十二代	伏見天皇	文永 建治 弘安	三〇五
第九十三代	後伏見天皇	弘安 正應 永仁	三〇二
第九十四代	後二條天皇	永仁 正安	三〇八
第九十五代	花園天皇	正安 乾元 嘉元 德治	三二〇
第九十六代	後醍醐天皇	德治 延慶 應長 正和 文保	三二四
第九十七代	光嚴院	文保 元應 元亨 正中 嘉祥	三二七
第九十八代	長慶天皇	元德 正慶	三三三
第九十九代	光明院	元德 正慶	三三三
第一百代	後村上天皇	建武 解應 康永 貞和	三三七
第一百一代	崇光院	延元 興國 正平	三三九
第一百二代	後光嚴院	貞和 觀應	三四〇
第一百十三代	長慶天皇	文和 延文 康安 貞治 應安	三五五
第一百十四代	長慶天皇	正平 建德 文中 天授 弘和	三六六

享	享德 (三三三-三三四)	四〇五
享	享祿 (二八八-二八九)	四五六
享	享保 (三三六-三三九)	•
享	享和 (二四六-二四六)	•
九畫		
貞	貞觀 (一五九-一五六)	一三九
貞	貞元 (一六六-一六七)	一七八
貞	貞應 (一八三-一八三)	二七八
貞	貞永 (一八二-一)	二八四
貞	貞和 (一〇〇五-一〇〇九)	三四六
貞	貞治 (一〇〇一-一〇一七)	三六三
貞	貞享 (一〇四四-一〇四七)	•
保	保安 (一七〇-一七三)	三三三
保	保延 (一七五-一八〇)	三三八
保	保元 (一八六-一八八)	三三六
建	建久 (一八〇-一八六)	二五七
建	建仁 (一八一-一八三)	二六五
建	建永 (一六六-一)	二六七
建	建曆 (一八七-一八七)	二七二
建	建保 (一八七-一八八)	二七三
建	建長 (一九〇-一九五)	二九三
建	建治 (一九五-一九七)	三〇六
建	建武 (一九四-一九五)	三三六
建	建德 (一〇〇〇-一〇〇一)	三六七
昭	昭和 (二六六-無窮)	•
十畫		
神	神龜 (二三四-二五六)	一〇七
神	神鏡 (一四七-一四九)	二一五
十一畫		
康	康保 (一六四-一六七)	一七五
康	康平 (一七八-一七九)	一九八
康	康和 (一七九-一七九)	二二〇
康	康治 (一八三-一八五)	二三〇
康	康元 (一九六-一)	二九七
康	永康 (二〇〇-二〇〇)	三四三
嘉	嘉安 (一〇二一-一)	三六二
嘉	嘉曆 (一〇二九-一〇三〇)	三七二
嘉	康應 (二〇九-一)	三七六
嘉	康正 (二二五-二二六)	四〇六
乾	乾元 (一六六-一)	三二一
十三畫		
萬	萬壽 (一六四-一六六)	一九〇
萬	萬治 (三三八-三三〇)	•
萬	萬延 (三五〇-一)	•
十四畫		
嘉	嘉祥 (一五八-一五〇)	一三三
嘉	嘉保 (一七四-一七五)	二〇八
嘉	嘉承 (一七六-一七七)	二二三
嘉	嘉應 (一八九-一八〇)	二四一
嘉	嘉祿 (一八五-一八六)	二七九
嘉	嘉禎 (一八九-一八九)	二八六
嘉	嘉元 (一九三-一九五)	三三二
嘉	嘉曆 (一九六-一九八)	三三一

嘉	嘉慶 (一〇七九-一〇八〇)	三七五
嘉	嘉吉 (一一〇一-一一〇一)	三九九
嘉	嘉永 (一〇五〇-一〇五三)	四〇八
齊	齊衡 (一五二四-一五二六)	一三七
壽	壽永 (一八四-一八四)	二四九
十五畫		
慶	慶雲 (一三六四-一三六七)	一〇三
慶	慶長 (一三六六-一三七四)	•
慶	慶安 (一三〇八-一三一一)	•
慶	慶應 (一三五五-一三五七)	•
養	養老 (一三七七-一三六三)	一〇六
養	養和 (一八四一-一)	二四八
寬	寬平 (一五四九-一五五七)	一五六
寬	寬和 (一六四四-一六四六)	一七九
寬	寬弘 (一六四四-一六七二)	一八四
寬	寬仁 (一六七二-一六八〇)	一八八
寬	寬德 (一七〇二-一七〇五)	一九五
寬	寬治 (一七四七-一七五三)	二〇五
寬	寬喜 (一八八九-一九一)	二八一
寬	寬元 (一九〇三-一九〇六)	二九〇
寬	寬正 (一一一〇-一一一五)	四〇八
寬	寬永 (一三八四-一三九〇)	•
寬	寬文 (一三三三-一三三三)	•
寬	寬保 (一三〇一-一三〇一)	•
寬	寬延 (一三〇六-一三一〇)	•
寬	寬政 (一三四四-一三四〇)	•
德	德治 (一六六-一六七)	三三
十六畫		
興	興國 (一〇〇〇-一〇〇〇)	三四一
曆	曆仁 (一九八-一)	二八七
曆	曆應 (一九六-二〇〇)	三三九
十七畫		
應	應和 (一六三-一六三)	一七四
應	應德 (一七四-一七四)	一〇四
應	應保 (一八二-一八三)	二三八
應	應長 (一九一-一)	三五
應	應安 (二〇八-二〇八)	三六六
應	應永 (二〇四-二〇七)	三七八
應	應仁 (二二三-二二三)	四一一
二十畫		
寶	寶龜 (一三九〇-一三九〇)	一五
寶	寶治 (一九〇-一九〇)	二九二
寶	寶德 (一一〇四-一一一一)	四〇三
寶	寶永 (一三六四-一三七〇)	•
寶	寶曆 (一三三三-一三三三)	•
廿四畫		
靈	靈龜 (一三七五-一三七五)	一〇五
廿五畫		
觀	觀應 (一〇一〇-一〇一一)	三五二

ア	(顯廣) 顯廣王記 (吾妻) 吾妻鏡
イ	(石記) 石清水八幡宮記 (一代) 一代要記 (猪隈) 猪隈關白記
ウ	(氏經) 内宮氏經日記 (寛木田氏經記)
エ	(英俊) 英俊法印日記 (園太) 園太曆
オ	(大館) 大館常興日記 (大内) 大内氏實錄土代 (岡屋) 岡屋關白記 (御湯) 御湯殿上日記 (蔭涼) 蔭涼軒日録 (御前) 御前落居奉書
カ	(花營) 花營三代記 (春日) 春日社記 (華頂) 華頂要略 (兼宣) 兼宣公記 (兼敦) 兼敦朝臣記 (上諏訪) 上諏訪神社文書 (賀茂) 賀茂別雷神社文書 (河上山) 河上山古文書 (勘仲) 勘仲記 (管見) 管見記 (看開) 看開日記
キ	(祇園) 祇園社執行日記 (祇園社) 祇園社記録 (吉績) 吉績記 (吉槐) 吉槐記 (迎陽) 迎陽記 (紀略) 日本紀略
ク	(愚管) 愚管抄 (公卿) 公卿補任 (愚昧) 愚昧記 (外記) 外記日記 (建内) 建内記 (賢俊) 賢俊信正日記
ケ	(後紀) 日本後紀 (業資) 業資王記 (後愚) 後愚昧記 (後奈良) 後奈良院宸記 (後二) 後二條師通記 (言繼) 言繼卿記
コ	(西宮) 西宮記 (左經) 左經記 (定家) 定家朝臣記
ク	(薩成) 薩成記 (薩目) 薩目記 (實隆) 實隆公記 (實躬) 實躬卿記 (山槐) 山槐記 (三長) 三長記 (三代) 日本三代實錄
シ	(小石) 小石記 (小目) 小右記日録 (書紀) 日本書紀 (續紀) 續日本紀 (續後) 續日本後紀 (諸社) 諸社根元記 (十三) 十三代要略 (神馬) 神馬引付 (深心院) 深心院關白記 (新抄) 新抄格勅符抄 (神宮) 神宮年表

ス	(水左) 水左記 (祐春) 春日若宮社主祐 春記
セ	(世紀) 本朝世紀 (政事) 政事要略
ソ	(續史) 續史墨抄
タ	(大雜) 大神宮諸雜事記 (大例) 二所大神宮例文 (大乘院) 大乘院日記日録 大乘院寺社雜事記
チ	(忠富) 忠富王記 (多田) 多田神社文書 (爲房) 爲房卿記
ツ	(親俊) 親俊日記 (親長) 親長卿記 (親元) 親元日記 (中右) 中右記
ニ	(中院) 中院一品記 (長秋) 長秋記 (朝野) 朝野群載 (經俊) 經俊卿記 (鶴記) 鶴岡社務記録 (貞信) 貞信公記 (天文) 天文日記
ナ	(洞院) 洞院公定公記 (東寺) 東寺執行日記 (時信) 時信記 (内宮) 内宮引付 (仲資) 仲資王記
ノ	(二水) 二水記 (仁和寺) 仁和寺日記 (宣胤) 宣胤卿記
ハ	(宣秀) 宣秀卿記 (範國) 範國記 (教言) 教言卿記 (教興) 教興卿記 (花園) 花園院宸記 (東山) 京都東山文庫記 (尙通) 後法成寺尙通公 記 (百鍊) 百鍊抄 (百合) 東寺百合文書
ヘ	(伏見) 伏見院御記 (扶桑) 扶桑略記 (文永) 文永代始公事抄
ホ	(兵範) 兵範記 (平戸) 平戸記 (碧山) 碧山日録 (北山) 北山抄
マ	(政家) 後法興院政家記 (滿濟) 滿濟准后日記 (水無瀬) 水無瀬神宮文書 (妙槐) 妙槐記 (民經) 民經卿記 (明月) 明月記
メ	(元長) 元長卿記 (守光) 守光公記 (師卿) 師卿記 (師守) 師守記 (文德) 文德實錄 (文粹) 本朝文粹
モ	(康富) 康富記 (行親) 行親記

皇紀	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20
年次	甲午三四	癸巳三三	壬辰三二	辛卯三一	庚寅三〇	己丑二九	戊子二八	丁亥二七	丙戌二六	乙酉二五	甲申二四	癸未二三	壬午二二	辛巳二一	庚辰二〇
天皇	武							神							
國政 大夫執政															
國史重要事項	<p>四 = 皇興巡幸腋上張間丘 ニ登リ國狀ヲ察給フ</p>														
神 祇 史 事 項															
研究 欄															

皇紀	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5
年次	己卯一九	戊寅一八	丁丑一七	丙子一六	乙亥一五	甲戌一四	癸酉一三	壬申一二	辛未一一	庚午一〇	己巳九	戊辰八	丁卯七	丙寅六	乙丑五
天皇	武							神							
國政 大夫執政															
國史重要事項															
神 祇 史 事 項															
研究 欄															

皇紀	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50
年次	甲六四	癸六三	壬六二	辛六一	庚六〇	己五九	戊五八	丁五七	丙五六	乙五五	甲五四	癸五三	壬五二	辛五一	庚五〇
天皇	武							神							
大夫執政															
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35
年次	己四九	戊四八	丁四七	丙四六	乙四五	甲四四	癸四三	壬四二	辛四一	庚四〇	己三九	戊三八	丁三七	丙三六	乙三五
天皇	武							神							
大夫執政															
國史重要事項	正 皇太子神 名川耳尊ヲ														
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	94	93	92	91	90	89	88	87	86	85	84	83	82	81	80
年次	甲一五	癸一四	壬一三	辛一二	庚一一	己一〇	戊九	丁八	丙七	乙六	甲五	癸四	壬三	辛二	庚一
天皇	靖											綏		一八	
大國政 執政	支彦湯 命														
國史重要事項												四 皇兄神八井耳命薨			正 天皇即位シ大倭葛城 高丘宮ニ都シ給フ
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	79	78	77	76	75	74	73	72	71	70	69	68	67	66	65
年次	己卯	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	甲戌	癸酉	壬申	辛未	庚午	己巳	戊辰	丁卯	丙寅	乙丑
天皇	(位 空)		武		神										
大國政 執政															
國史重要事項	十一 手研耳命ヲ殺ス			三 天皇繼原宮ニテ崩御 (一二七)	九 神武天皇ヲ諷傍山東 北陵ニ葬リ奉ル										
神祇史事項	○ 神八井耳命ヲ忌人トナシテ神祇ヲ奉與セシム(書紀)														
研究欄	(書紀四)														

皇紀	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110			
年次	甲子二	癸亥一	壬戌〇	辛酉九	庚申八	己未七	戊午六	丁巳五	丙辰四	乙卯三	甲寅二	癸丑元	壬子三	辛亥三	庚戌三			
天皇	寧				安				靖		綏							
大國夫政	色出命																	
執政																		
國史重要事項	正 大日本彥根友尊ヲ皇太子トス										正 淳名底仲媛命ヲ皇后トス		○ 都ヲ片鹽浮穴宮ニ遷シ給フ		十 綏靖天皇ヲ倭桃花鳥田丘上陵ニ葬リ奉ル		七五 天皇崩御(八四)	
神祇史事項																		
研究欄																		

皇紀	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	96	95
年次	己酉三〇	戊申二九	丁未二八	丙午二七	乙巳二六	甲辰二五	癸卯二四	壬寅二三	辛丑二二	庚子二一	己亥二〇	戊戌一九	丁酉一八	丙申一七	乙未一六
天皇	靖				綏										
大國夫政															
執政															
國史重要事項	正 皇子磯城津彥玉手看尊ヲ皇太子トス														
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	154	153	152	151	150	149	148	147	146	145	144	143	142	141	140
年次	甲午	癸巳	壬辰	辛卯	庚寅	己丑	戊子	丁亥	丙戌	乙酉	甲申	癸未	壬午	辛巳	庚辰
天皇	德		懿		三		六		寧			安			
國史重要事項			正 狹都ヲ大和輕ニ遷シ曲	八二 南御陰井上陵ニ葬リ	十二 天安天皇即位										
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	139	138	137	136	135	134	133	132	131	130	129	128	127	126	125
年次	己卯	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	甲戌	癸酉	壬申	辛未	庚午	己巳	戊辰	丁卯	丙寅	乙丑
天皇	寧								安						
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	184	183	182	181	180	179	178	177	176	175	174	173	172	171	170
年次	甲子三四	癸亥三三	壬戌三二	辛酉三一	庚申三〇	己未二九	戊午二八	丁巳二七	丙辰二六	乙卯二五	甲寅二四	癸丑二三	壬子二二	辛亥二一	庚戌二〇
天皇	九八			德			懿								
國史重要事項	九 天皇崩御(七七)	△ 孔子卒						△ 釋迦牟尼入滅					二 觀松彦香碩稻尊ヲ皇太子トス		
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	169	168	167	166	165	164	163	162	161	160	159	158	157	156	155	
年次	己酉一九	戊申一八	丁未一七	丙午一六	乙巳一五	甲辰一四	癸卯一三	壬寅一二	辛丑一一	庚子一〇	己亥九	戊戌八	丁酉七	丙申六	乙未五	
天皇	德			懿												
國史重要事項																
神祇史事項																
研究欄																

皇紀	214	213	212	211	210	209	208	207	206	205	204	203	202	201	200
年次	甲午二九	癸巳二八	壬辰二七	辛卯二六	庚寅二五	己丑二四	戊子二三	丁亥二二	丙戌二一	乙酉二〇	甲申一九	癸未一八	壬午一七	辛巳一六	庚辰一五
天皇	昭							孝							
國史重要事項	正世襲足媛ヲ皇后トス														
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	199	198	197	196	195	194	193	192	191	190	189	188	187	186	185
年次	己卯一四	戊寅一三	丁丑一二	丙子一一	乙亥一〇	甲戌九	癸酉八	壬申七	辛未六	庚午五	己巳四	戊辰三	丁卯二	丙寅元	乙丑
天皇	昭							孝							
國史重要事項														正四 =遷ス 都ヲ大和掖上池心宮	十 =德天 =沙上 =緒陵 =傍山 =南奉
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	244	243	242	241	240	239	238	237	236	235	234	233	232	231	230
年次	甲子	癸亥	壬戌	辛酉	庚申	己未	戊午	丁巳	丙辰	乙卯	甲寅	癸丑	壬子	辛亥	庚戌
天皇	昭							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	229	228	227	226	225	224	223	222	221	220	219	218	217	216	215
年次	己酉	戊申	丁未	丙午	乙巳	甲辰	癸卯	壬寅	辛丑	庚子	己亥	戊戌	丁酉	丙申	乙未
天皇	昭							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	274	273	272	271	270	269	268	267	266	265	264	263	262	261	260
年次	甲午六	癸巳五	壬辰四	辛卯三	庚寅二	己丑一	戊子八三	丁亥八二	丙戌八一	乙酉八〇	甲申七九	癸未七八	壬午七七	辛巳七六	庚辰七五
天皇	安		孝			昭		孝							
國史重要事項					十 都ヲ大和家秋津島宮 ニ遷ス	正 天皇即位	八 天皇崩御(一一四)								
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	259	258	257	256	255	254	253	252	251	250	249	248	247	246	245
年次	己卯七四	戊寅七三	丁丑七二	丙子七一	乙亥七〇	甲戌六九	癸酉六八	壬申六七	辛未六六	庚午六五	己巳六四	戊辰六三	丁卯六二	丙寅六一	乙丑六〇
天皇	昭														
國史重要事項								正 日本足彥國押人尊ヲ							
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	304	303	302	301	300	299	298	297	296	295	294	293	292	291	290
年次	甲子 三六	癸亥 三五	壬戌 三四	辛酉 三三	庚申 三二	己未 三一	戊午 三〇	丁巳 二九	丙辰 二八	乙卯 二七	甲寅 二六	癸丑 二五	壬子 二四	辛亥 二三	庚戌 二二
天皇	安							孝							
國史重要事項											二 押媛ヲ皇后トス				
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	289	288	287	286	285	284	283	282	281	280	279	278	277	276	275
年次	己酉 一	戊申 二〇	丁未 一九	丙午 一八	乙巳 一七	甲辰 一六	癸卯 一五	壬寅 一四	辛丑 一三	庚子 一二	己亥 一一	戊戌 一〇	丁酉 九	丙申 八	乙未 七
天皇	安							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	334	333	332	331	330	329	328	327	326	325	324	323	322	321	320
年次	甲六午	癸六巳	壬六辰	辛六卯	庚六寅	己六一	戊六〇	丁五九	丙五八	乙五七	甲五六	癸五五	壬五四	辛五三	庚五二
天皇	安							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	319	318	317	316	315	314	313	312	311	310	309	308	307	306	305
年次	己五一	戊五〇	丁四九	丙四八	乙四七	甲四六	癸四五	壬四四	辛四三	庚四二	己四一	戊四〇	丁三九	丙三八	乙三七
天皇	安							孝							
國史重要事項														八 山孝昭天皇ヲ 上陵ニ葬リ奉ル 波上博多	
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	364	363	362	361	360	359	358	357	356	355	354	353	352	351	350
年次	甲九六	癸九五	壬九四	辛九三	庚九二	己九一	戊九〇	丁八九	丙八八	乙八七	甲八六	癸八五	壬八四	辛八三	庚八二
天皇	安						孝								
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	349	348	347	346	345	344	343	342	341	340	339	338	337	336	335
年次	己八一	戊八〇	丁七九	丙七八	乙七七	甲七六	癸七五	壬七四	辛七三	庚七二	己七一	戊七〇	丁六九	丙六八	乙六七
天皇	安						孝								
國史重要事項						正 ヲ大日本根子彦太瓊尊 皇子トス									
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	393	392	391	390	389	388	387	386	385	384	383	382	381	380	379
年次	癸三 巳	壬三 辰	辛二 卯	庚二 寅	己一 丑	戊一 子	丁一 亥	丙一 戌	乙一 酉	甲一 申	癸一 未	壬一 午	辛一 巳	庚一 辰	己九 卯
天皇	靈							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	378	377	376	375	374	373	372	371	370	369	368	367	366	365
年次	戊八 寅	丁七 丑	丙六 子	乙五 亥	甲四 戌	癸三 酉	壬二 申	辛元 未	庚午	己二 巳	戊一 辰	丁九 卯	丙九 寅	乙九 丑
天皇	靈			孝		孝		安		孝				
國史重要事項							二 細媛命ヲ皇后トス	正 天皇即位	九 正 天皇崩御(一三七) 陵=安天皇ヲ奉ル 十二 田廬戸宮ニ遷シ給フ					
神祇史事項														
研究欄														

皇紀	423	422	421	420	419	418	417	416	415	414	413	412	411	410	409
年次	癸五三	壬五二	辛五一	庚五〇	己未九	戊午八	丁巳七	丙辰六	乙卯五	甲寅四	癸丑三	壬子二	辛亥一	庚戌〇	己酉九
天皇	靈							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究綱															

皇紀	408	407	406	405	404	403	402	401	400	399	398	397	396	395	394
年次	戊申三八	丁未三七	丙午三六	乙巳三五	甲辰三四	癸卯三三	壬寅三二	辛丑三一	庚子三〇	己亥二九	戊戌二八	丁酉二七	丙申二六	乙未二五	甲午二四
天皇	靈							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究綱															

皇紀	453	452	451	450	449	448	447	446	445	444	443	442	441	440	439	皇紀	
年次	癸巳	壬辰	辛卯	庚寅	己丑	戊子	丁亥	丙戌	乙酉	甲申	癸未	壬午	辛巳	庚辰	己卯	年次	
天皇	元		孝				二	二	靈		孝				天皇		
國史重要事項	九 孝養天皇ヲ片丘馬坂陵ニ葬リ奉ル		二 顯色誕命ヲ皇后トス		三 都ヲ大和輕境原宮ニ遷ス		正 天皇即位	二 天皇崩御(一一〇)									國史重要事項
神祇史事項																神祇史事項	
研究欄																研究欄	

皇紀	438	437	436	435	434	433	432	431	430	429	428	427	426	425	424	皇紀
年次	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	甲戌	癸酉	壬申	辛未	庚午	己巳	戊辰	丁卯	丙寅	乙丑	甲子	年次
天皇	靈		孝											天皇		
國史重要事項																國史重要事項
神祇史事項																神祇史事項
研究欄																研究欄

皇紀	483	482	481	480	479	478	477	476	475	474	473	472	471	470	469
年次	癸三七	壬戌三六	辛酉三五	庚申三四	己未三三	戊午三二	丁巳三一	丙辰三〇	乙卯二九	甲寅二八	癸丑二七	壬子二六	辛亥二五	庚戌二四	己酉二三
天皇	元							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	468	467	466	465	464	463	462	461	460	459	458	457	456	455	454
年次	戊申二二	丁未二一	丙午二〇	乙巳一九	甲辰一八	癸卯一七	壬寅一六	辛丑一五	庚子一四	己亥一三	戊戌一二	丁酉一一	丙申一〇	乙未九	甲午八
天皇	元							孝							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

正
尊
雅
日
本
根
子
彥
大
日
日
孫
ヲ
皇
太
子
ト
ス

皇紀	513	512	511	510	509	508	507	506	505	504	503	502	501	500	499
年次	癸一〇	壬九	辛八	庚七	己六	戊五	丁四	丙三	乙二	甲一	癸未	壬午	辛巳	庚辰	己卯
天皇	化														
	開														
	十二、十三														
國史重要事項					正 伊香色謎命ヲ皇后ト	二 孝元天皇ヲ劍池島上 陵ニ葬リ奉ル					十 都ヲ大和春日率川宮 ニ遷ス	十九 天皇崩御(一一七)			
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	498	497	496	495	494	493	492	491	490	489	488	487	486	485	484
年次	戊五二	丁五一	丙五〇	乙四九	甲四八	癸四七	壬四六	辛四五	庚四四	己四三	戊四二	丁四一	丙四〇	乙三九	甲三八
天皇	元														
	孝														
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	543	542	541	540	539	538	537	536	535	534	533	532	531	530	529
年次	癸四〇	壬三九	辛三八	庚三七	己三六	戊三五	丁三四	丙三三	乙三二	甲三一	癸三〇	壬二九	辛二八	庚二七	己二六
天皇	化							開							
國史重要事項													正 子 ト ス 御間城入彦尊ヲ皇太		
神 祇 史 事 項															
研究欄															

皇紀	528	527	526	525	524	523	522	521	520	519	518	517	516	515	514
年次	戊二五	丁二四	丙二三	乙二二	甲二一	癸二〇	壬一九	辛一八	庚一七	己一六	戊一五	丁一四	丙一三	乙一二	甲一一
天皇	化							開							
國史重要事項															
神 祇 史 事 項															
研究欄															

皇紀	570	569	568	567	566	565	564	563	562	561	560	559	
年次	庚寅七	己丑六	戊子五	丁亥四	丙戌三	乙酉二	甲申一	癸未〇	壬午九	辛巳八	庚辰七	己卯六	
天皇	神				崇		化		開				
國史重要事項			○ 國內疾疫流行シ國民ノ大半死亡ス	十 群卿百僚ノ忠貞ヲ獎勵ス	九 都ヲ大和磯城ノ瑞籬宮ニ遷ス	二正 天皇即位ノ皇后トス	十四 天皇崩御(一三三)開化天皇ヲ春日率川坂上陵ニ葬リ奉ル						
神祇史事項	△ 十二 天皇漢茅原ニ八十萬神ヲ祀給フ(書紀) 市磯長尾市ヲシテ倭大國魂神ヲ祀ラシム・天社國社及ヒ神地神戶ヲ定ム(書紀) 瑞寶ヲ共ニ藏メ齊ヒテ石上大神ト稱ス(舊事本紀)	○ ○ ○ 皇女豐御食炊屋姫命ニ依テ罪ヲ神祇ニ請給フ(書紀) 倭大國魂神ヲ(書紀)入姫命ニ託シ市磯邑ニ祭ラシム姫事故アリ祭ル事ヲタハス(書紀)											
研究欄	(書紀五)												

皇紀	558	557	556	555	554	553	552	551	550	549	548	547	546	545	544	皇紀
年次	戊寅五	丁丑四	丙子三	乙亥二	甲戌一	癸酉〇	壬申九	辛未八	庚午七	己巳六	戊辰五	丁卯四	丙寅三	乙丑二	甲子一	年次
天皇	化				開										天皇	
國史重要事項																
神祇史事項																
研究欄																

皇紀	598	597	596	595	594	593	592	591	590	589	588	587	586	585	584
年次	戊午三五	丁巳三四	丙辰三三	乙卯三二	甲寅三一	癸丑三〇	壬子二九	辛亥二八	庚戌二七	己酉二六	戊申二五	丁未二四	丙午二三	乙巳二二	甲辰二一
天皇	神							崇							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	583	582	581	580	579	578	577	576	575	574	573	572	571	皇紀
年次	癸卯二〇	壬寅一九	辛丑一八	庚子一七	己亥一六	戊戌一五	丁酉一四	丙申一三	乙未一二	甲午一一	癸巳一〇	壬辰九	辛卯八	年次
天皇	神							崇						天皇
國史重要事項														
神祇史事項														
研究欄														

皇紀	625	624	623	622	621	620	619	618	617	616	615	614	613
年次	乙酉 六一	甲申 六一	癸未 六〇	壬午 五九	辛巳 五八	庚辰 五七	己卯 五六	戊寅 五五	丁丑 五四	丙子 五三	乙亥 五二	甲戌 五一	癸酉 五〇
天皇	神						崇						
國史重要事項	七 河内國ニ池溝ヲ掘ラ シム 依網池ヲ造ル 十一 菟坂池反折池ヲ造 ル												
神祇史事項	七 武諸隅ヲ出雲大神ニ遣シテ神寶ヲ見ムト欲セラル依テ阪入根神寶ヲ 獻ス・出雲振根ノ亂ニヨリ出雲區等畏テ大神ヲ祭ラズ、勅シテ之ヲ 祭ラシム (書紀)												
研究欄													

皇紀	612	611	610	609	608	607	606	605	604	603	602	601	600	599	
年次	壬申 四九	辛未 四八	庚午 四七	己巳 四六	戊辰 四五	丁卯 四四	丙寅 四三	乙丑 四二	甲子 四一	癸亥 四〇	壬戌 三九	辛酉 三八	庚申 三七	己未 三六	
天皇	神						崇								
國史重要事項	四 皇子活目尊ヲ皇太子 トシ豐城人彦命ヲシ テ東國ヲ治メシメ給 フ														
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	654	653	652	651	650	649	648	647	646	645	644	643	642	641	640
年次	甲寅三	癸丑二	壬子一	辛亥〇	庚戌九	己酉八	戊申七	丁未六	丙午五	乙巳四	甲辰三	癸卯二	壬寅一	辛丑〇	庚子九
天皇	仁							垂							
國史重要事項	<p>十一 湯河板舉鵠ヲ獻ル 鳥取造ノ姓ヲ賜フ</p> <p>八 日葉酢媛ヲ皇后トス</p>														
神祇史事項	<p>十 皇子饗津別命ヲシテ出雲大神ヲ拜マシメ給フ (書紀)</p>														
研究欄															

皇紀	639	638	637	636	635	634	633	632	631	630	629	628	627	626	皇紀
年次	己亥八	戊戌七	丁酉六	丙申五	乙未四	甲午三	癸巳二	壬辰一	辛卯〇	庚寅九	己丑八	戊子七	丁亥六	丙戌五	皇紀
天皇	仁		垂			神		崇						天皇	
國史重要事項	<p>七 任那國蘇那島叱知ヲ遣シ朝貢</p> <p>十二 天皇崩御(一一一)</p> <p>十二 天皇即位 崇神天皇ヲ山邊道勾 岡上陵ニ葬リ奉ル</p> <p>十 狹穗彥王謀反八綱田 ニ命シテ之ヲ討タシ 久目高宮ニ行幸</p> <p>七 當麻ノ蹶速出雲ノ野 見宿禰ト角力ス</p> <p>十二 都ヲ大和縣向珠城宮 ニ遷ス</p>														
神祇史事項	<p>三 天日槍來朝、將來物ヲ但馬國ニ藏シ神寶トス(出石神社) (書紀)</p>														
研究欄	<p>(書紀六)</p>														

皇紀	683	682	681	680	679	678	677	676	675	674	673	672	671	670	669
年次	癸未	壬午	辛巳	庚辰	己卯	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	甲戌	癸酉	壬申	辛未	庚午	己巳
天皇	仁							垂							
國史重要事項															
神祇史事項															十 皇子五十瓊敷命ヲシテ饗千口ヲ作リテ石上神宮ニ藏メシメ給ヒ此ノ後命ヲシテ之ヲ主ラシム(書紀)
研究欄															

皇紀	668	667	666	665	664	663	662	661	660	659	658	657	656	655	
年次	戊辰	丁卯	丙寅	乙丑	甲子	癸亥	壬戌	辛酉	庚申	己未	戊午	丁巳	丙辰	乙卯	
天皇	仁							垂							
國史重要事項								(西曆紀元元年)							
神祇史事項							七 皇后日葉作媛命崩御、時ニ野見宿禰ノ建議ニヨリ埴輪ヲ以テ殉死ニ代フ、詔シテ水制トナス(書紀)						二 五大夫(阿倍武尊川別命・和珥彦國尊命・中臣)ニ詔シテ神祇ノ祭祀ヲ重ンゼン事ヲ論シ給フ(書紀) 三 倭姫命ヲシテ天照大神ヲ奉ジテ伊勢五十鈴川上ニ遷祀シ奉ルベキヲ勅命セララル(書紀) 八 物部十千根大連ニ勅シ出雲ノ神寶ヲ檢校シ之ヲ掌ラシム(書紀) 九 天照大神ヲ宇治縣伊勢國五十鈴川上ニ遷祀シ奉ル(書紀) 八 祠官ニ命シ始テ兵器ヲ以テ神幣ト爲サシメ諸神社ニ納メシメ更ニ神地神戶ヲ定ム(書紀)		
研究欄															

皇紀	713	712	711	710	709	708	707	706	705	704	703	702	701	700	699	皇紀
年次	癸八一	壬子八	辛亥八〇	庚戌七九	己酉七八	戊申七七	丁未七六	丙午七五	乙巳七四	甲辰七三	癸卯七二	壬寅七一	辛丑七〇	庚子六九	己亥六八	皇紀
天皇	仁 垂														天皇	
國史重要事項																
神祇史事項																
研究欄																

皇紀	698	697	696	695	694	693	692	691	690	689	688	687	686	685	684	皇紀
年次	戊戌六七	丁酉六六	丙申六五	乙未六四	甲午六三	癸巳六二	壬辰六一	辛卯六〇	庚寅五九	己丑五八	戊子五七	丁亥五六	丙戌五五	乙酉五四	甲申五三	皇紀
天皇	仁 垂															天皇
國史重要事項																
神祇史事項																
研究欄																

皇紀	742	741	740	739	738	737	736	735	734	733	732	731	730	729	皇紀
年次	壬二 午	辛一 巳	庚一〇 辰	己九 卯	戊八 寅	丁七 丑	丙六 子	乙五 亥	甲四 戌	癸三 酉	壬二 申	辛未 元 七 未	庚午 九 七 午	己巳 八 七 巳	年次
天皇	行 景												天皇		
國史重要事項	<p>七 熊襲反ス八月親征ノ タメ筑紫ニ行幸</p> <p>十一 諸皇子ヲ國郡ニ封シ 就キテ治メシメ給フ ニ遷ス</p> <p>十二 天皇崩御(四〇) 見東陵ニ葬リ奉ル</p> <p>十三 田道間守常世國ヨリ 歸還</p> <p>七 天皇即位</p> <p>三 播磨稻日大郎姫ヲ皇 后トス</p> <p>二 屋主忍男武雄心命ヲ紀伊ニ遣シ神祇ヲ祭ラシム(書紀)</p>														國史重要事項
神祇史事項	<p>十 土蜘蛛ヲ額田國ニ征スルニアタリ志賀神直人物部神直人中臣神三神 ニ祈リソノ威靈アリ(書紀)</p> <p>二 五十瓊敷命妹大中姫ニ命シ石上神宮ノ神寶ヲ物部十千根ニ授ケテ治 メシム此後物部連世々之ヲ治ム(書紀)</p> <p>七 詔ニヨリ清彥(新羅皇子天日槍ノ曾孫)天日槍將來ノ神寶ヲ貢獻ス (書紀)</p>														神祇史事項
研究欄	(書紀七)														研究欄

皇紀	728	727	726	725	724	723	722	721	720	719	718	717	716	715	714	皇紀
年次	戊七 辰	丁卯 九 六	丙寅 九 五	乙丑 九 四	甲子 九 三	癸亥 九 二	壬戌 九 一	辛酉 九 〇	庚申 八 九	己未 八 八	戊午 八 七	丁巳 八 六	丙辰 八 五	乙卯 八 四	甲寅 八 三	年次
天皇	仁 垂															天皇
國史重要事項	<p>二 田道間守ヲ常世國ニ 遣シ非時香葉ヲ求 メ</p>															國史重要事項
神祇史事項	<p>二 五十瓊敷命妹大中姫ニ命シ石上神宮ノ神寶ヲ物部十千根ニ授ケテ治 メシム此後物部連世々之ヲ治ム(書紀)</p> <p>七 詔ニヨリ清彥(新羅皇子天日槍ノ曾孫)天日槍將來ノ神寶ヲ貢獻ス (書紀)</p>															神祇史事項
研究欄																研究欄

皇紀	772	771	770	769	768	767	766	765	764	763	762	761	760	759	758
年次	壬子	辛丑	庚寅	己卯	戊辰	丁巳	丙午	乙未	甲申	癸酉	壬戌	辛亥	庚子	己丑	戊寅
天皇	行景														
國史重要事項			六 東夷叛ク、七月日本 武尊ヲシテ征討セシム メ給フ												二 日本武尊熊襲征服ノ 狀ヲ奏ス
神祇史事項	○ 日本武尊存ニセル蝦夷ヲ神宮ニ獻ス (書紀)		十 日本武尊東夷ヲ征スルニ際シ伊勢神宮ヲ拜シ倭姫命ヨリ草薙劍ヲ賜 ハル (書紀)												
研究欄															

皇紀	757	756	755	754	753	752	751	750	749	748	747	746	745	744	743
年次	丁酉	丙申	乙未	甲午	癸巳	壬辰	辛卯	庚寅	己丑	戊子	丁亥	丙戌	乙酉	甲申	癸未
天皇	行景														
國史重要事項	八二 武内宿禰復奏ス 熊襲討シ之ヲ擊タシム		七 武内宿禰ヲシテ北陸 ヲ巡察セシム								三 天皇還幸	三 子湯縣ニ幸シ國名ヲ 日向ト命ジ給フ			五 襲國平テ天皇筑紫高 島宮ニ坐ス
神祇史事項								△二 五百野皇女ヲシテ多氣郡ニ齋宮ヲ建テ天照大神ヲ祭ラシム (書紀) トアリ		四 天皇海路葦北ノ小島(肥後)ニテ御食ヲ進ムルニ水ナク仰キテ天神地 祇ニ祈リシニ忽チソノ靈威アリ水湧キ出ヅ因テ水嶋ト名ヅク (書紀)					
研究欄															

皇紀	799	798	797	796	795	794	793	792	791	790	789	788	787	786
年次	己卯	戊寅	丁丑	丙子	乙亥	甲戌	癸酉	壬申	辛未	庚午	己巳	戊辰	丁卯	丙寅
天皇	務 成 行 景													
大臣	内 大臣 武													
國史重要事項					九 諸國ニ合シテ國郡ニ造長ヲ、縣邑ニ稻置ヲ置キ、山河ヲ界トシテ國縣ヲ分チ邑里ヲ定ム	二 詔シテ國郡ニ長ヲ縣邑ニ首ヲ置ク	正 武内宿禰ヲ大臣トス	十一 景行天皇ヲ山邊道上陵ニ葬リ奉ル	正 天皇即位	十一 天皇近江志賀高穴穗宮ニ崩御(一四三)	二 近江行幸高穴穗宮ニ在スコト三年	十 諸國ニ合シテ田部屯倉ヲ興ス	八 御諸別王ヲシテ東國ヲ治メシメ給フ	
神祇史事項														
研究欄														

皇紀	785	784	783	782	781	780	779	778	777	776	775	774	773
年次	乙丑	甲子	癸亥	壬戌	辛酉	庚申	己未	戊午	丁巳	丙辰	乙卯	甲寅	癸丑
天皇	行 景												
大臣	内 武												
國史重要事項	九 天武天皇伊勢ヨリ還幸攝向宮ニ居マス	二 彦狹嶋王ヲ東山道十國都督ニ任ス途ニ	十二 伊勢給宮ニ居ス	十八 天武天皇上磯海路幸淡水面門ヲ渡リ至リ伊勢給宮ニ賞賜シ給フ	七 妃八坂八媛命ヲ皇后トス	八 稚足彦尊ヲ皇太子トシ武内宿禰ヲ棟梁臣トナス							○ 日本武尊伊勢能登野ニ薨ス(三〇)
神祇史事項													八 日本武尊神宮ニ獻リシ存磨ヲ神宮ヨリ獻ズ播磨讚岐伊豫安藝阿波等ノ國ニ院カシム(書紀)
研究欄													

皇紀	829	828	827	826	825	824	823	822	821	820	819	818	817	816	815
年次	己酉三九	戊申三八	丁未三七	丙午三六	乙巳三五	甲辰三四	癸卯三三	壬寅三二	辛丑三一	庚子三〇	己亥二九	戊戌二八	丁酉二七	丙申二六	乙未二五
天皇	務							成							
大臣	内							武							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	814	813	812	811	810	809	808	807	806	805	804	803	802	801	800
年次	甲午二四	癸巳二三	壬辰二二	辛卯二一	庚寅二〇	己丑一九	戊子一八	丁亥一七	丙戌一六	乙酉一五	甲申一四	癸未一三	壬午一二	辛巳一一	庚辰一〇
天皇	務							成							
大臣	内							武							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	856	855	854	853		852	851	850	849	848	847	846	845
年次	丙子五	乙亥四	甲戌三	癸酉二		壬申一	辛未	庚午六〇	己巳五九	戊辰五八	丁卯五七	丙寅五六	乙丑五五
天皇	哀			仲		一十二		六十二	務		成		
大臣	内						武						
國史重要事項				九 三二二 正 天皇豐浦宮(長門)ヲ 製勒津宮ニ坐ス時熊 德勒津宮ニ坐ス時熊 天路屯倉ヲ定ム 淡路屯倉ヲ定ム 天路南國巡狩伊弉 角鹿ニ行幸簡飯行宮 ヲ興シ之ニ坐マス ス氣長足姫尊ヲ皇后ト 正 天皇即位			九 成務天皇ヲ倭國狹城 盾列池後陵ニ葬リ奉 ル	六 天皇崩御(一〇七)					
神祇史事項													
研究欄						(書紀八)							

皇紀	844	843	842	841	840	839	838	837	836	835	834	833	832	831	830	皇紀年次
年次	甲子五四	癸亥五三	壬戌五二	辛酉五一	庚申五〇	己未四九	戊午四八	丁巳四七	丙辰四六	乙卯四五	甲寅四四	癸丑四三	壬子四二	辛亥四一	庚戌四〇	天皇
天皇	務						成									
大臣	内						武									
國史重要事項							三 足仲彥尊ヲ皇太子ト ナス									國史重要事項
神祇史事項																神祇史事項
研究欄																研究欄

皇紀	880	879	878	877	876	875	874	873	872	871	870	869	868	867	866
年次	庚子二〇	己亥一九	戊戌一八	丁酉一七	丙申一六	乙未一五	甲午一四	癸巳一三	壬辰一二	辛卯一一	庚寅一〇	己丑九	戊子八	丁亥七	丙戌六
天皇	神							應							
攝政大臣	功							神							
	内							武							
國史重要事項															
神祇史事項															二 武内宿禰ニ命シテ豊田別皇太子ヲ奉シテ簡飯大神ヲ拜セシム(書紀)
研究欄															

皇紀	865	864	863	862	861	860	859	858	857
年次	乙酉五	甲申四	癸未三	壬午二	辛巳元	庚辰九	己卯八	戊寅七	丁丑六
天皇	神				應			仲	
攝政大臣	后				功			武	
	内				内			武	
國史重要事項									
神祇史事項									
研究欄									

皇紀	909	908	907	906	905	904	903	902	901	900	899	898	897	896
年次	己巳 四九	戊辰 四八	丁卯 四七	丙寅 四六	乙丑 四五	甲子 四四	癸亥 四三	壬戌 四二	辛酉 四一	庚申 四〇	己未 三九	戊午 三八	丁巳 三七	丙辰 三六
天皇	神							應						
攝政	功							神						
大臣	内							武						
國史重要事項	三 將軍荒田別我別等 ヲシテ新羅ヲ討メ之ヲ 百濟ニ賜フ	四 新羅ノ使者ヲ遣シ朝貢 ノ長彦ヲ遣シ	三 斯摩宿禰ヲ任那ニ遣 ス	○ 使ヲ魏ニ遣ス			○ 魏使來朝			○ 使ヲ魏ニ遣ス				
神祇史事項														
研究欄														

皇紀	895	894	893	892	891	890	889	888	887	886	885	884	883	882	881
年次	乙卯 三五	甲寅 三四	癸丑 三三	壬子 三二	辛亥 三一	庚戌 三〇	己酉 二九	戊申 二八	丁未 二七	丙午 二六	乙巳 二五	甲辰 二四	癸卯 二三	壬寅 二二	辛丑 二一
天皇	神							應							
攝政	功							神							
大臣	内							武							
國史重要事項															
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	963	962	961	960	959	958	957	956	955	954	953	952	951
年次	癸三 亥四	壬三 戌三	辛三 酉一	庚三 申一	己三 未〇	戊二 午九	丁二 巳八	丙二 辰七	乙二 卯六	甲二 寅五	癸二 丑四	壬二 子三	辛二 亥二
天皇	神						應						
大臣	内						武						
國史重要事項				八 新羅造船匠者ヲ貢ス			九 高麗王遣使朝貢太子 高麗王遣使朝貢太子 高麗王遣使朝貢太子 破ルノ無禮ヲ怒リ之ヲ			〇 百濟直支王薨			九三 難波大隅宮ニ行幸 淡路島ヨリヤシ吉備ノ 小豆島ヨリ葉田葦守 宮ニ移居セララル
神													
紙													
史													
事													
項													
研究欄													

皇紀	950	949	948	947	946	945	944	943	942	941	940	939	938	937	936	
年次	癸二 戌二	己二 酉〇	戊一 申九	丁一 未八	丙一 午七	乙一 巳六	甲一 辰五	癸一 卯四	壬一 寅三	辛一 丑二	庚一 子一	己一 亥〇	戊九 戌九	丁八 酉八	丙七 申七	
天皇	神						應									
大臣	内						武									
國史重要事項																九 高麗百濟任那新羅來 朝
神																三 百濟人來朝
紙																四 武内宿禰ヲ筑紫ニ派 シ百姓ヲ監察セシム
史																十 劍池、輕池、鹿川池、 鹿坂池ヲ作ル
事																〇 百濟ノ弓月君來朝
項																八 百濟王阿直岐ヲ遣シ テ良馬ヲ獻ス
研究欄																二 武内宿禰 天皇ヲ奉シ角鹿筒飯大神ヲ拜ス (書紀)

皇紀	990	989	988	987	986	985	984	983	982	981	980	979	978	977	
年次	庚寅一八	己丑一七	戊子一六	丁亥一五	丙戌一四	乙酉一三	甲申一二	癸未一一	壬午一〇	辛巳九	庚辰八	己卯七	戊寅六	丁丑五	
天皇	德							仁							
大臣	内							武							
國史重要事項	九 使ヲ新羅ニ遣シテ關 貢ヲ責ム新羅懼レテ 調續其他八十艘ヲ貢 ス		○ 大道ヲ京中ニ作ル		九 始メテ美田屯倉ヲ立 テ春米部ヲ定ム		七 高麗鐵盾鐵的ヲ貢ス		十 難波ノ堀江ヲ掘リ茨 田堤ヲ築ク		十 始メテ課役ヲ課シ宮 室ヲ營造ス		八 大兄去來種別皇子ノ 爲ニ壬生部ヲ皇后ノ 爲ニ葛城部ヲ定ム		
神祇史事項	十 天皇夢ニ神壽アリ武藏ノ人強頸河内ノ人美田連形子ト共ニ河伯ヲ祭ル(書紀)														
研究欄															

皇紀	976	975	974	973	972	971	970	969	968	967	966	965	964					
年次	丙子四	乙亥三	甲戌二	癸酉元	壬申	辛未	庚午四一	己巳四〇	戊辰三九	丁卯三八	丙寅三七	乙丑三六	甲子三五					
天皇	德			仁			三			神			應					
大臣	内			武			内			武								
國史重要事項	三 天皇家ニ登リ百姓 ノ窮乏ヲ知給フ課役ヲ 除クテ三年ノ課役ヲ		二 天皇家ニ登リ百姓 ノ窮乏ヲ知給フ課役ヲ 除クテ三年ノ課役ヲ		三 磐之媛命ヲ皇后トス		正 天皇即位都ヲ攝津 國難波高津宮ニ遷ス		二 天皇崩御(一一一) 應神天皇ヲ河内惠我 太子荒道稚郎子率ル 漢伏間陵ニ葬リ奉ル 大鷦鷯尊ニ讓テ即位ヲ シ給ハズ		正 荒道稚郎子ヲ太子ト シ大鷦鷯尊ヲ太子ト 補トシ給フ		二 阿知使主・都加使主 吳ニ至リ縫工女ヲ求 ム					
神祇史事項	二 阿知使主等吳ヨリ筑紫ニ至ル時胸形大神工女等ヲ乞ヒタマフニヨリ 兄媛ヲ胸形大神ニ奉ラシメ給フ(書紀)																	
研究欄	(書紀十)																	

皇紀	1019	1018	1017	1016	1015	1014	1013	1012	1011	1010	1009	1008	1007	1006
年次	巳未七	戊午六	丁巳五	丙辰四	乙卯三	甲寅二	癸丑一	壬子〇	辛亥九	庚戌八	己酉七	戊申六	丁未五	丙午四
天皇	德						仁							
大臣	内						武							
國史重要事項					九 鷹甘部ヲ定ム		三 紀角宿禰ヲ百濟ニ遣ム ニシテ國郡縣城ヲ分チ具セシ			正 八田皇女ヲ皇后トス			六 皇后磐之媛命筒城宮ニ崩ス	
神祇史事項							○ 神嘗ノ文字國史ニ始メテ見ユ (書紀)							
研究欄														

皇紀	1005	1004	1003	1002	1001	1000	999	998	997	996	995	994	993	992	991	
年次	乙巳三	甲辰二	癸卯一	壬寅〇	辛丑九	庚子八	己亥七	戊戌六	丁酉五	丙申四	乙未三	甲午二	癸巳一	壬辰〇	辛卯九	
天皇	德						仁									
大臣	内						武									
國史重要事項																正 大兄去來穗別尊ヲ皇太子トス
神祇史事項																
研究欄																

皇紀	1048	1047	1046	1045	1044	1043	1042	1041	1040	1039	1038	1037	1036	1035	1034
年次	戊子 七六	丁亥 七五	丙戌 七四	乙酉 七三	甲申 七二	癸未 七一	壬午 七〇	辛巳 六九	庚辰 六八	己卯 六七	戊寅 六六	丁丑 六五	丙子 六四	乙亥 六三	甲戌 六二
天皇	德							仁							
大臣															
國史重要事項	<p>五 遠江ノ大木ヲ以テ 船ヲ造ルメテ米室ヲ置ク</p> <p>○ 飛騨宿禰横暴ス難波 根子武振熊ノシテ討 セシム</p> <p>十 河内國石津原ニ幸シ 陵地ヲ定メ起工ス</p>														
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	1033	1032	1031	1030	1029	1028	1027	1026	1025	1024	1023	1022	1021	1020	
年次	癸酉 六一	壬申 六〇	辛未 五九	庚午 五八	己巳 五七	戊辰 五六	丁卯 五五	丙寅 五四	乙丑 五三	甲子 五二	癸亥 五一	壬戌 五〇	辛酉 四九	庚申 四八	
天皇	德							仁							
大臣	内 武														
國史重要事項	<p>五 使ヲ新羅ニ派シ關貢 ヲ責ム</p> <p>○ 蝦夷叛ス田道之ヲ討 チテ敗死ス ○ 武内宿禰薨ス(在官 二百三十四年)</p> <p>十 吳・高麗並ニ朝貢ス</p>														
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	1073	1072	1071	1070	1069	1068	1067	1066	1065	1064	1063	1062
年次	癸丑	壬子	辛亥	庚戌	己酉	戊申	丁未	丙午	乙巳	甲辰	癸卯	壬寅
天皇	恭允			正	反	中	履					
大臣執政	圓			城	葛							
國史重要事項	十二 天皇即位 ○都ヲ遠飛鳥宮ニ遷ス	二 忍坂大中姫ヲ皇后トス 皇后ノ爲ニ刑部ヲ定ム		正 天皇崩御(六〇)				十正 天皇即位 都ヲ河内國丹比ノ榮宮ニ遷ス	十三 天皇崩御(六七) 履中 天皇ヲ百舌鳥耳原陵ニ葬リ奉ル	九 淡路島ニ御狩ス 草香幡授皇女ヲ皇后トス 始メテ藏職ヲ置キ藏部ヲ定ム	八 始メテ諸國ニ國史ヲ置キ言事ヲ記シテ中央ニ通達セシム	
神祇史事項									三 筑紫國方三神宮中ニ見ハル(我民ヲ奪ヘルモアリトノ毒アリ) 天皇祀リ給ハズ(書紀)	九 伊弉諾神託アリ(河内馬飼部ノ縣スルヲ禁ス)(書紀)	十 筑紫ノ胸形神ニ車持君ノ願ヒシ部民ヲ奉ル(書紀)	
研究欄	(十書三紀)											



皇紀	1061	1060	1059	1058	1057	1056	1055	1054	1053	1052	1051	1050	1049
年次	辛丑	庚子	己亥	戊戌	丁酉	丙申	乙未	甲午	癸巳	壬辰	辛卯	庚寅	己丑
天皇	仲	履	三	二	德						仁		
大臣執政	圓			葛									
國史重要事項	十 大使主共ニ國事ヲ執ル 大物部伊弉諾我滿智・平木菟群	十 都ヲ大和勢余推機宮ニ遷ス	正 瑞齒別皇子ヲ皇太子トス	二 天皇即位	十正 天皇崩御(一一〇) 仁德天皇ヲ百舌鳥野陵ニ葬リ奉ル								
神祇史事項					〇 住吉仲皇子太子ノ宮ヲ饒ク太子逃レテ大和ニ至リ石上振神宮ニ居ス 是御宇大山積神百濟ヨリ歸リ攝津三島ニ坐ス因リテ神社ヲ建テ祭祀ス(伊弉風土記)								
研究欄	(十書二紀)												

皇紀	1103	1102	1101	1100	1099	1098	1097	1096	1095	1094	1093	1092	1091	1090	1089
年次	癸三	壬三	辛三	庚二	己二	戊二	丁二	丙二	乙二	甲一	癸二	壬二	辛二	庚一	己一
天皇	恭							允							
大臣	圓														
國史重要事項										三 木梨輕皇子ノ皇太子 トス	三 輕部ヲ定ム	六 輕大郎皇女ヲ伊豫ニ 流ス			
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	1088	1087	1086	1085	1084	1083	1082	1081	1080	1079	1078	1077	1076	1075	1074
年次	戊一	丁一	丙一	乙一	甲一	癸一	壬一	辛一	庚九	己八	戊七	丁六	丙五	乙四	甲三
天皇	恭							允							
大臣	圓														
國史重要事項							三 衣通郎姫ノ爲ニ藤原 部ヲ定ム		二 河内茅渚宮ニ幸ス	二 藤原宮ニ幸ス	十二 新宮ニ宴ス		十一 地震玉田宿禰ヲ誅ス 耳原陵ニ葬リ奉ル	正 天皇御願アリ良醫ヲ 來朝御病治メ奉ル	
神祇史事項						九 天皇淡路ニ遷セラレシモ一禽モ獲ラレズ之ヲ惟トシテトハレシニ鳩 神ノ神託アリ眞珠ヲ得テ鳩神ヲ祭ラル (書紀)							九 詔シテ味根丘ニテ盟神探湯ヲ行ヒテ姓氏錯亂ヲ正ス (書紀)		
研究欄															

皇紀	1129	1128	1127	1126	1125	1124	1123	1122	1121	1120	1119	1118	1117	
年次	己酉三	戊申二	丁未一	丙午〇	乙巳九	甲辰八	癸卯七	壬寅六	辛丑五	庚子四	己亥三	戊戌二	丁酉一	
天皇	略						雄							
大臣	鳥						眞							
國史重要事項	八 播磨ノ海賊文石小腐ヲ誅ス	十 身狭青檜隈博徳ヲ吳始メテ權開ヲ起ス	四 鳥養部ヲ置ク	七 川瀬舍人ヲ置ク	九 遣吳國使歸還ス	七 河内磐田陵ニ赤駿土馬ノ依アリ	三 新羅ヲ討ツ	〇 破ル	二 新羅朝貢セシ高麗ト結ビシガ兩國際アリ	八 任那日本府兵高麗ヲ破ル	四 任那國司吉備田狹坂ヲ遣シ	三 天皇皇后妃ニ羣事ヲ勸メシメラル	四 二 天皇葛城山ニ獵ス百濟貢ス	八 吉野宮ニ幸ス
神祇史事項				二 凡河内直香賜采女ト共ニ胸方神ヲ祀ラシメ給ヒシガ慎マズ天皇之ヲ誅セラル(書紀)	三 新羅ヲ伐タントセラレシガ神壽アリテ止メラル(書紀)					七 天皇嫁ニ詔シテ三諸ノ岳神ヲ捉ヘシム(書紀)			二 天皇大和葛城山ニ獵シ給ヒシ時神異ノ事アリ因リテ山下ニ社ヲ設ケテ神ヲ祀ラル(葛城坐一言字神社)(書紀)	
研究欄	(十書四紀)													

皇紀	1116	1115	1114	1113	1112	1111	1110	1109	1103	1107	1106	1105	1104
年次	丙申三	乙未二	甲午元	癸巳四	壬辰一	辛卯〇	庚寅三	己丑八	戊子七	丁亥六	丙戌五	乙酉四	甲申三
天皇	康安			恭		允							
大臣	眞平			眞									
國史重要事項	十一 天皇泊瀬朝倉宮ニ即位	八 眉輪王天皇ヲ殺シ奉ル	正 中帶姫ヲ皇后トス	二 幡後皇女ヲ大泊瀬皇太子ニ配ス	十二 石上穴種宮ニ遷ス	十 原崇天八人ヲ長野	正 允種樂羅御(八〇)	正 天皇崩御(八〇)					
神祇史事項													
研究欄	(六—四〇—元紀) (78)												

皇紀	1149	1148	1147	1146	1145	1144	1143	1142	1141					
年次	己二 巳	戊元 辰	丁三 卯	丙二 寅	乙元 丑	甲五 子	癸四 亥	壬三 戌	辛百 酉					
天皇	賢	仁	宗	宗	顯	顯	寧	寧	清					
皇族	青飯 尊													
大臣	鳥													
國史重要事項	十 磐杯丘陵ニ葬リ奉ル	二 皇太后大和傍丘	二 天皇石上廣高宮ニ即位	四 天皇崩御(三八)(四八)	四 群臣ヲ宴ス	三 上巳後苑ニ幸シテ始メテ曲水宴ヲ設ク	正 來目部小楯ノ功ヲ賞ス	正 天皇近飛鳥八鈞宮ニ即位	正 難波小野王ヲ皇后トス	正 飯豐青皇女ヲ河内坂門原陵ニ葬リ奉ル	正 諸蕃使ヲ饗ス	九 臣連諸國ノ風俗ヲ巡察ス	四 億計王ヲ皇太子トス	十一 諸國ニ自愛部舍人・諸大親負ヲ置クヲ京ニ迎フ
神祇史事項			二 阿閉臣事代ヲ任那ニ遣サレシ時月神ノ神憑アリ民地ヲ神ニ奉ル(押見宿禰之ヲ祭ル)(書紀)	四 日神ノ神憑アリテ高皇產靈神ニ山背ノ歌櫻田・大和ノ磐余ノ田十四町ヲ奉リ給フ(對馬下縣直之ヲ祭ル)(書紀)										十一 播磨國可伊與ノ來目部・小楯・赤石部ニ於テ親ヲ新嘗ノ供物ヲ辨フ(書紀)
研究欄														

皇紀	1140	1139	1138	1137	1136	1135	1134	1133	1132	1131	1130								
年次	庚元 申	己三 未	戊二 午	丁二 巳	丙二 辰	乙一 卯	甲一 寅	癸一 丑	壬一 子	辛一 亥	庚一 戌								
天皇	略	略	略	略	略	略	略	略	雄	雄	雄								
皇族	鳥																		
大臣	鳥																		
國史重要事項	十 雄略天皇ヲ丹比高覽原陵ニ葬リ奉ル	正 天皇磐余慶樂宮ニ即位	八 天皇崩御(六二)	四 百濟文斤王薨ス	四 安致臣等高麗ヲ擊ツ	八 星川皇子ノ亂	正 自愛皇子立太子	三 地ヲ百濟ニ賜ヒ其國ヲ再興ス	〇 高麗王百濟ヲ討ツ	三 穴穗部ヲ置ク	八 物部菟代宿禰伊勢ノ賊ヲ誅ス	三 賞土師部ニ詔シテ清器ヲ奉ラシム	十 漢部ヲ棄メテ其伴造ヲ定ム	七 諸國ニ令シ桑ヲ植エシム	〇 長官トス	〇 大藏ヲ置キ秦造酒ヲ長官トス	四 秦民九十二部一萬八千餘人ヲ秦酒公ニ賜ヒ織業ヲ興ス	三 根使主ヲ誅ス	正 吳人漢織吳織ヲ貢ス弟媛ヲ漢衣織部トナス
神祇史事項	〇 大伴室屋大連ニ勅シ幣帛ヲ三輪大物主神ニ奉リ皇子ヲ得ムコトヲ新ラシメ給フ(大三輪神三社鎮座次第)	二 倭姫命薨シ尾上崇石室ニ葬ル(書紀)	九 大佐々命ヲ遣シテ豐受大神ヲ丹波ヨリ迎ヒ沼木郡度會ノ山田ノ原ニ立(止由氣宮儀式帳寶基本紀)	十 天照大神倭姫ノ御夢ニ海シアリ丹波・比治ノ眞奈井ニ坐ス御廣都神等由氣大神ヲ伊勢ニ祭ラシメ事ヲ欲スト宣給フ依テ姫之ヲ天皇ニ奏ス(止由氣儀式帳寶基本紀)	三 商田根ノ罪ヲ責メ殺ヲ科ス(書紀)	三 吳國ノ手采ノ才伎兒媛ヲ以テ大三輪神ニ奉ル(書紀)													
研究欄																			

皇紀	1174	1173	1172	1171	1170	1169	1168	1167	1166	1165	1164	1163	
年次	甲午八	癸巳七	壬辰六	辛卯五	庚寅四	己丑三	戊子二	丁亥元	丙戌八	乙酉七	甲申六	癸未五	
天皇	體			繼		武		烈		武			
大臣	人			男		勢		巨		鳥			
國史重要事項	三 作波築城我ニ備フ			十二 百濟五經博士因楊爾		十二 武烈天皇ヲ傍丘磐杯		三 手白香皇女ヲ皇后ト		九 小泊瀨舍人ヲ置ク		十二 天皇崩御(一八)	
神祇史事項	十二 天皇壹角媛ヲ以テ伊勢神宮ニ侍ラシム(書紀)					二 大伴大連金村ノ奏聞ニヨリ皇子ヲ養給ハント神祇伯ヲ遣シ敬ミテ神祇ニ祈ラセ給フ(書紀)							
研究欄						(書七紀)							

皇紀	1162	1161	1160	1159	1158	1157	1156	1155	1154	1153	1152	1151	1150		
年次	壬午四	辛巳三	庚辰二	己卯元	戊寅一	丁丑〇	丙子九	乙亥八	甲戌七	癸酉六	壬申五	辛未四	庚午三		
天皇	烈			武		賢		仁							
大臣	鳥			鳥		鳥			鳥						
國史重要事項	十 城ヲ水汲邑ニ作ル			三 春日皇子ヲ皇后ニ立		十二 天皇崩御(五〇)(五		十 仁賢天皇ヲ墳生阪本		九 高麗ノ革工ヲ召ス		二 諸國ニ散レル佐伯部		二 石上部舍人ヲ置ク	
神祇史事項															
研究欄				(書六紀)											

皇紀	1197	1196	1195	1194	1193	1192	1191	1190						
年次	丁巳	丙辰	乙卯	甲寅	癸丑	壬子	辛亥	庚戌						
天皇	化	宣	閑	安				體繼						
大臣	目稻我蘇													
國史重要事項	十 大伴磐同快手彦ヲシテ任那ヲ救ハシム	七 物部鹿火薨ス	五 宮ニ遷ス 三 橋仲皇女ヲ皇后トス 津ノ口ニ官家ヲ建ツ	正 都ヲ大和掄隈廬入野	十二 高安 天皇即位	十九 天皇崩御(七〇)	八 諸國ニ大養部ヲオク	五 屯倉ノヲオク	四 勾舍人部及韃部ヲ置	十四 伊其國造屯倉ヲ獻ス	三 春日山田皇女ヲ皇后トス	正 都ヲ大和勾金橋ニ遷	二 天皇崩御(四三)(八)	二 賞シテ廉節ノ士ヲ褒
神祇史事項														
研究欄				(十書八紀)										

皇紀	1189	1188	1187	1186	1185	1184	1183	1182	1181	1180	1179	1178	1177	1176	1175
年次	己酉	戊申	丁未	丙午	乙巳	甲辰	癸卯	壬寅	辛丑	庚子	己亥	戊戌	丁酉	丙申	乙未
天皇				體							繼				
大臣				人							男				
國史重要事項	九 大臣臣勢男八登ス	四 任那王來朝新羅ノ侵	十一 磐井ヲ誅ス	六 近江毛野ニ任那ヲ討	九 都ヲ大和磐余ノ玉穗		〇 百濟武寧王薨					正 都ヲ弟國(山城)ニ遷		九 百濟五經博士高安茂	
神祇史事項															
研究欄															

皇紀	1220	1219	1218	1217	1216	1215	1214	1213	1212	1211	1210	1209		
年次	庚辰二	己卯二〇	戊寅一九	丁丑一八	丙子一七	乙亥一六	甲戌一五	癸酉一四	壬申一三	辛未一二	庚午一一	己巳一〇		
天皇	明						欽							
大臣	日						稻							
國史重要事項	九 新羅調賦ヲ獻ル					正 諸國ニ屯倉ヲオク	七 吉備ニ大臣稻目ヲ遣シ屯倉ヲ設ク	二 淳中倉太珠敷命ヲ皇太子トス	正 淳中倉太珠敷命ヲ皇太子トス	六 百濟兵ヲ乞フ	十 佛像ヲ堀江ニ投ス	三 麥種一千斛ヲ百濟王ニ賜フ	四 百濟高麗ノ俘ヲ獻ス	二 百濟ニ詔シテ忠證ノ證トシテ重臣ヲ朝セシム
神祇史事項								二 百濟王子聖明王賊ニ殺サレシ由ヲ奏ス天皇神祇伯ニ命シ策ヲ神祇ニ受ケレメ給フ依テ更ニ神ヲ祭ラシメ給フ (書紀)	十 物部大連尼與・中臣連鎌子奈シテ我國家天地社稷一百八十神ニ頼リヲ受ケント天皇從ハ我國ノ永興ナリ合故無クシテ佛ヲ信スルハ國神ノ謫ヲ建テ佛禮セラル諸國ニ疾疫多シ (書紀)					
研究欄														

皇紀	1208	1207	1206	1205	1204	1203	1202	1201	1200	1199	1198	
年次	戊辰九	丁卯八	丙寅七	乙丑六	甲子五	癸亥四	壬戌三	辛酉二	庚申元	己未四	戊午三	
天皇	明						欽					
大臣	日						稻					
國史重要事項	四 百濟任那復興ノ爲メ授兵ヲ乞フ	七 百濟貢獻	九 百濟丈六佛像ヲ造リテ天皇及彌移居國ノ福祐ヲ祈ル	十二 肅慎人佐渡ニ來ル	十二 任那復興ヲ圖ル	十二 任那復興ヲ圖ル	四 百濟ニ詔シテ任那ヲ復興セシム	九 蘇波祝津宮ニ幸ス	八 蘇波祝津宮ニ幸ス	七 蘇波祝津宮ニ幸ス	正 蘇波祝津宮ニ幸ス	十二 天皇即位
神祇史事項								九 蘇波ニ幸シ使ヲ遣シテ住吉神ヲ祭ラシメ給フ (釋日本紀所引天書)				
研究欄	(十書九紀)											

皇紀	1244	1243	1242	1241	1240	1239	1238	1237	1236	1235	1234
年次	甲辰一三	癸卯一二	壬寅一一	辛丑一〇	庚子九	己亥八	戊戌七	丁酉六	丙申五	乙未四	甲午三
天皇	達 敏										
大臣	子 馬										
國史重要事項	<p>九 〇 七 十 閉二 十 十一 正 十一</p> <p>佛等殿置子百日任還新 蝦夷邊境ニ寇ヲナ 法ノヲスソノ佛濟羅那ス 蝦夷邊境ニ寇ヲナ 初メテニ女修○ノヲ佛濟羅那ス 蝦夷邊境ニ寇ヲナ 興ルニ等治ス川佛像ス 蝦夷邊境ニ寇ヲナ 度ニ司馬ニ請我石 蝦夷邊境ニ寇ヲナ 馬ニ佛安馬 蝦夷邊境ニ寇ヲナ 達佛安馬 蝦夷邊境ニ寇ヲナ</p>										
神祇史事項	<p>閉二 蝦夷ノ魁師ヲ召ス魁師天地ノ神ニ服從ヲ盟フ (書紀)</p> <p>二 詔シテ日祀部・私部ヲ置ク (書紀)</p> <p>三 菟道皇女ヲ伊勢神宮ニ奉侍セシム果サズ (書紀)</p>										
研究欄											

皇紀	1233	1232	1231	1230	1229	1228	1227	1226	1225	1224	1223	1222	1221
年次	癸巳二	壬辰元	辛卯三一	庚寅三一	己丑三〇	戊子二九	丁亥二八	丙戌二七	乙酉二六	甲申二五	癸未二四	壬午二三	辛巳二二
天皇	達 敏 明 欽												
大臣	子馬我蘇 目 稻												
國史重要事項	<p>五 五四 九八四四 四三 四 〇 五 八 正 〇</p> <p>高麗使人越海ニ漂着 天皇即位 天皇高麗ノ表疏ヲ王 蘇我大臣稻目薨ス 泊瀬柴籬宮ニ幸ス 白猪田部ノ丁籍ヲ定 ム 諸國大水飢饉 高麗人投化筑紫ニ到 新羅調賦ヲ獻ル 新羅任那ノ官家ヲ滅 大作狹手高麗ヲ伐ツ</p>												
神祇史事項	<p>〇 天下舉國風吹雨霽セシニヨリト部伊吉若日子ヲ勸シテトハセ給ヒシニ加茂神ノ崇ナリトテ仍テ四月吉日ヲ選ヒ加茂祭ヲ行フ (加茂祭ノ始ナリ) (秦氏本系圖) 〇 肥前國興止蝦師鎮座 (肥前風土記)</p>												
研究欄	(書十紀)												

皇紀	1262	1261	1260	1259	1258	1257	1256	1255	1254	1253	1252			
年次	壬戌一〇	辛酉九	庚申八	己未七	戊午六	丁巳五	丙辰四	乙卯三	甲寅二	癸丑元	壬子五			
天皇	推古										十二、十三			
攝政大臣	子										馬			
國史重要事項	十二 來目皇子新羅ヲ伐ツ地理等ノ書ヲ獻ス	十 新羅ヲ攻ム事ヲ議ス	二 後二國朝貢ヲ警フ	二 新羅任那相攻ム○境	九 百濟路駝・鹽羊・白雉ヲ貢ル	十八 新羅孔雀ヲ貢ス	四 百濟王子阿佐朝貢ス	十一 法興寺成ル	五 高麗僧慧慈歸化ス	〇 詔シテ皇太子大臣ヲシテ三寶ヲ興サシム	〇 四天王寺建立	正 佛舍利ヲ法興寺ノ柱礎ノ中ニ置ク	十二 天皇即位(敏達天皇ノ皇后額田部ノ皇女)豐浦宮ニ遷都	十一 馬子東廣直駒ヲシテ天皇ヲ殺奉ラシム
神祇史事項	〇 來目皇子新羅征討ノ爲諸神部及國造伴造等軍衆二萬五千人ヲ授ク(書紀)		二 新羅・任那我國ニ使ヲ遣シ貢ヲ調リ奏表ヲ奉ツテ曰ク「天上ニ神アリ地ニ天皇アリ是ノ二神ヲ除キテハ何ゾ亦畏キ事有ラム」ト(書紀)	四 地震ニテ舍屋悉ク破ル地震神ヲ祭ラシム(書紀)								〇 大連中臣御食子伊勢神宮祭官ニ補ス(神宮)		
研究欄											(二書十二紀)			

皇紀	1251	1250	1249	1248	1247	1246	1245						
年次	辛亥四	庚戌三	己酉二	戊申元	丁未二	丙午元	乙巳四						
天皇	敏達												
攝政大臣	子												
國史重要事項	十一 新羅ヲ遣シシテ任那ノ事ヲ問ハシム	八 紀男屠等大將軍トシテ築紫ニ居リ使ヲ遣ス	四 敏達天皇ヲ河内磯長原シテ任那ヲ建ムトス	三 櫻井寺ニ住ス	〇 東山東海北陸道ニ遣使ソノ境ヲ觀セシム	〇 法興寺ヲ造ル	八 天皇即位大和倉梯柴垣宮ニ都ヲ遷ス	七 用明天皇ヲ殺シ皇太子ヲ立ル	六 蘇我馬子穴穗部皇子ヲ殺シ皇太子ヲ立ル	正 穴穗部間人皇女ヲ皇后トス	九 八 天皇即位宮ヲ磐余ニ造リ池邊雙槻宮ト云フ	三 二 蘇我馬子塔ヲ造ル	二 廢疾流行
神祇史事項						四 磐余ノ河上ニ新嘗開シ食ス(書紀)	〇 醇香手姫ヲ伊勢神宮ニ奉仕セシム(書紀)	〇 天皇佛法ヲ信ヒ神道ノ尊ヒ給フ(書紀)					
研究欄								(二書十一紀)					

皇紀	1288	1287	1286	1285	1284	1283	1282	1281	1280	1279	1278	1277	1276
年次	戊子三六	丁亥三五	丙戌三四	乙酉三三	甲申三二	癸未三一	壬午三〇	辛巳二九	庚辰二八	己卯二七	戊寅二六	丁丑二五	丙子二四
天皇	推古												
攝政大臣	蘇我馬子												
國史重要事項	七三 天皇崩御(七五) 起メテ天皇ノ喪禮ヲ		五 蘇我馬子薨ス	正 高麗王僧惠灌ヲ貢ル	九 寺・僧尼等ヲ換ヘ録 セシム	七 唐僧惠濟來ル○新 羅任那來朝諸佛具ヲ 貢ス		二 既戶豐聰耳皇子薨ス (攝政二十九年)	○ 既戶皇子馬子等ニ詔 シテ天皇記・國記臣連 ニ伴造國造百八十部并 ニ公民等ノ本記ヲ撰 セシム	八 高麗朝貢ス○安藝 國ニ船ヲ造ラシム			七 新羅佛像ヲ獻ス
神祇史事項													
研究欄													

皇紀	1275	1274	1273	1272	1271	1270	1269	1268	1267	1266	1265	1264	1263	
年次	乙亥二三	甲戌二二	癸酉二一	壬申二〇	辛未一九	庚午一八	己巳一七	戊辰一六	丁卯一五	丙寅一四	乙丑一三	甲子一二	癸亥一一	
天皇	推古													
攝政大臣	蘇我馬子													
國史重要事項	十 高麗僧慧慈歸國	六 犬上御田歿ヲ陪ニ遣 ス	十一 蘇波ト小墾田宮ト ノ大道ヲ開ク	○ 百濟人吳ノ伎樂舞ヲ 傳ス	五 菟田野ニ築造ス	三 高麗僧曇徴法定ヲ貢 ス	九 妹子歸朝	九八 唐客入京國書ヲ奉ル 陪妹ニ從テ學問僧人 陪ス	○七二 小野妹子ヲ陪ニ遣ス 法隆寺建造	七 天皇皇子ヲ請シ勝 電經ヲ講セシム	四 天皇發願銅鑄ノ丈六 ノ佛像ヲツクル著ケ 陪七ノ諸王臣ニ撰ツケ シム	九四正 冠位ヲ改正ス 朝禮ヲ改正ス	十二 來日皇子筑紫ニ薨ス 都ヲ小墾田宮ニ遷ス 冠位十二階ヲ制定	十二 來日皇子筑紫ニ薨ス 都ヲ小墾田宮ニ遷ス 冠位十二階ヲ制定
神祇史事項									二 詔ヲ下シテ神祇ノ祭祀ヲ忘ラザラシム皇太子大臣百寮ヲ率キテ神祇 ヲ拜祭シ給フ(書紀)					
研究欄														

皇紀	1307	1306	1305	1304	1303	1302
年次	丁未三	丙午二	乙巳六元大化	甲辰三	癸卯二	壬寅元
天皇	德	孝	孝	極	皇	皇
先皇	德	孝	孝	極	皇	皇
皇族	兄	大	中			
内臣	子	錄	臣	中	夷	蝦
國史重要事項	○ 小郡宮ヲ營リ禮法ヲ定ム 有馬湯ニ幸シ武庫三階ノ冠ヲ制ス	正 兵庫ヲ修營セシム 正 品部ヲ罷メ公民トス	七 諸國ノ民ノ數ヲ錄ス 八 諸國ノ民ノ數ヲ錄ス 九 諸國ノ民ノ數ヲ錄ス 十 諸國ノ民ノ數ヲ錄ス	正 中臣鎌子中大兄皇子トス 六 中大兄皇子入鹿ヲ斬ル 七 中大兄皇子入鹿ヲ斬ル 八 中大兄皇子入鹿ヲ斬ル	四 郡臣授位ノ事ヲ議ス 五 郡臣授位ノ事ヲ議ス 六 郡臣授位ノ事ヲ議ス	正 天皇即位(計明天皇ノ皇位) 五 蘇我入鹿國政ヲ執ル 六 蘇我入鹿國政ヲ執ル 七 蘇我入鹿國政ヲ執ル
神祇史事項	四 神別皇別ノ事ヲ議ス(書紀)	三 東國ノ朝集使ニ詔シテ治世スルニ最モ神ノ護ヲ蒙ル依テ轉等ト共ニ民ヲ治メント欲スト詔フ(書紀)	七 倭漢直比羅夫ヲ尾張國ニ忌部首子麻呂ヲ美濃國ニ遣シテ神供ノ幣ヲ課ス(書紀)	六 中大兄皇子入鹿ヲ斬ルニ際シテ天照太孫(輕皇子)ヲ奉ル(書紀)	正 中臣鎌子連神祇伯ニ任セムト爲給ヒシガ因辭シテ就カス(書紀)	七 群臣諸社神ヲ祭リ祈雨スレド効無シ(書紀)
研究編			(廿五)			(廿四)

皇紀	1301	1300	1299	1298	1297	1296	1295	1294	1293	1292	1291	1290	1289
年次	辛丑三	庚子二	己亥一	戊戌〇	丁酉九	丙申八	乙未七	甲午六	癸巳五	壬辰四	辛卯三	庚寅二	己丑一
天皇	舒	明	明	明	明	明	明	明	明	舒	舒	舒	舒
大臣													
國史重要事項	十 天皇崩御(四九)	四 伊豫ヨリ還幸蝦坂宮ニ居マス	正 有馬ノ湯湯ヨリ還幸伊豫川側ニ九重塔ヲ建ツ	〇 百濟・新羅・任那朝貢之ヲ伐ツ	三 蝦夷板ス上毛野形名	〇 大早天下飢饉	六 岡本宮災ス皇居ヲ田中宮ニ遷ス	正 舞見見ユ	八 舞見始メテ史ニ見ユ	九 有馬溫泉ニ行幸	十 都ヲ飛鳥岡本宮ニ遷ス	八 大上御田相ヲ唐ニ遣ス	正 寶皇女ヲ皇后トス
神祇史事項			七 新嘗開シ食シ給フ(書紀)								十 唐使高表仁來朝難波館ニ入レテ神酒ヲ賜フ(書紀)		
研究編													(廿三)

皇紀	1325	1324	1323	1322	1321	1320	1319	1318	1317	
年次	乙丑	甲子	癸亥	壬戌	辛酉	庚申	己未	戊午	丁巳	
天皇	智		天 (稱臨朝)		明		齊			
内大臣	足		鏡							
國史重要事項	八二 長門・筑紫ニ築城ス	二二 冠位ニ上民部・家部ヲ定ム 防人・烽候ヲ置ク	三三 唐百濟ヲ亡ス	三三 高麗教ヲ乞フ	正三 其他物ヲ求ム	八七 天竺比羅夫ハシテ百濟ヲ救フ	五五 皇師西征始メテ海路ニ就ク	二五 天皇百濟ノ救助ニ軍ヲ遣サル	三三 浦吉野ヨリ近江平	七 孟蘭盆會ヲ飛鳥寺ニ修ス
神祇史事項				○ 神宮祭官ヲ改メテ祭主トシ中臣大島之ニ補ス (神宮)		五 朝倉ノ社木ヲ以テ皇居ヲ造リシニ神祟アリテ病死者多シ依テ殿ヲ壞ツ (書紀)			四 蝦夷征伐ノ時齋田ノ蝦夷酋長恩荷進・神祇(齋田ノ浦ノ神)ニ誓ツテ服從ノ意ヲ表ス (書紀)	
研究編	(廿七紀)									

皇紀	1316	1315	1314	1313	1312	1311	1310	1309	1308			
年次	丙辰	乙卯	甲寅	癸丑	壬子	辛亥	庚戌	己酉	戊申			
天皇	明		齊		德		孝					
内大臣	子		兄		大		中					
國史重要事項	八 高麗調ヲ貢ス	八 飛鳥板蓋宮災ス川原宮ニ遷御	正 中大兄皇子ヲ皇太子トス	正 天皇即位(重祚ノ始メ)	○ 新羅使ヲ遣ス	十二 天德天皇ヲ河内大	四 班田制ヲ定メ戸籍ヲ造ル	十二 千佛像ヲ刻ス	二 穴戸國司白雉ヲ獻シ	二 省百官ヲ置ク	四四 古冠ノ制ヲ罷ム	正 難波豐碕宮ニ行幸
神祇史事項		○ 皇極御宇伊勢神宮ノ神縣二十郷ヲ割キ度會及竹村ニ屯倉ヲ立テ山田ニ御厨ヲ設ク (延暦儀式帳)			○ 小華下齋部首作賀斯ヲ神官頭トナシ王族宮内ノ禮儀婚姻ト策ノ事ヲ掌ラシム (古語拾遺)		○ 河内國枚岡ニ社殿ヲ營ミ天兒屋根命・比賣神ヲ祭祀ス(寺社元要記)	二 穴戸國司白雉ヲ獻ス郡臣奉賀ス詔シテ「公卿百官等清白心ヲ以テ神祇ヲ敬奉テ休祥ヲ受ケ天下ヲ榮エシメム」云云ト (書紀)	○ 氣初メテ伊勢大神宮司ニ補ス (神宮)			
研究編	(廿六紀)											

	九	八	七	六	五	四	三	
皇紀	1340	1339	1338	1337	1336	1335	1334	
年次	庚辰 八	己卯 七	戊寅 六	丁丑 五	丙子 四	乙亥 三	甲戌 二	
天皇	武			天				
國史重要事項	十一 國家ヲ利シ百官ヲシテ シムヘキ見テ上ラ	十 龍田山・大坂出二關 ヲ置ク難波ニ羅城ヲ	三 天皇齊明天皇陵ヲ拜	十八二 多羅鳥人來ル 始メテ鑄錢司ヲ置	十六五 大早百姓飢ユ 諸國ニ金光明經ヲ	正 國司任用進士ノ制ヲ 定ム 兼内山野ノ伐木ヲ禁	十 諸王以下初位以上各 兵ヲ備ヘシム	三 對馬國司銀ヲ貢ス
神祇史事項	四・七 龍田・廣瀨二神ヲ祭ル (書紀)	四・七 龍田・廣瀨二神ヲ祭ル (書紀)	正 天照大神ヲ祀リ天下 皇女ノ忌去ニヨリ俄ニ 中ニ止セラレ (書紀)	十七五二 勸シテ山城ニ賀茂御 龍田・廣瀨二神ヲ祭ル 新嘗祭 (神官及國司ニ 祭ル) (書紀)	十九八 大和國吉野郡丹生川上 ニ同象女神ヲ祀ラシメ 給フ (二十二社註式)	四三二正 夏祭日ヲ二月四日ト 七月恒例ニテ大早ニ 四方ニ詔シテ大早ノ 祭ヲ行ハシメ國造・郡 司ニ獻物ヲ出サセシ メ (書紀)	十九八三 對馬國司白銀出テ諸 神祇ニ奉ル (我國銀ノ 產出ノ初) (書紀)	
研究欄								

	元 (紀書)														
皇紀	1333	1332	1331	1330	1329	1328	1327	1326	皇紀						
年次	癸酉 元	壬申 元	辛未 一〇	庚午 九	己巳 八	戊辰 七	丁卯 六	丙寅 五	年次						
天皇	天			智				天	天皇						
區内大				足				錄	區内大						
國史重要事項	七五〇 始メテ不取調ヲ置ク	二 宮ニ遷都	八七 天皇即位飛鳥淨見原	六 大海人皇子ノ兵吉野	十一 近江國ニ置ク	正 冠位ノ法度ヲ施行シ	四 法隆寺火アリ	二 近江國ニ置ク	〇十 大藏ニ災アリ	十二正 天皇即位	十一 倭國高安城・讚岐	三 都ヲ近江大津宮ニ遷	二 齊明天皇ヲ越智岡上	〇 百濟歸化人二千餘人	國史重要事項
神祇史事項	十四 大來皇女ヲ伊勢宮ト定ム (書紀)	〇 伊勢宮大御宇 (書紀)	六 皇太子壬申ノ亂ニ際シ 吉野ヲ發シ伊勢朝明部 連太川ノ邊ニ來リシ時 雨ヲ止メ給フ・金網井 ニ遣シ給ヒシ時高市・ 牟婁・村屋三神ノ神託 アリ (書紀)	〇 伊勢宮大御宇 (書紀)	〇 伊勢宮大御宇 (書紀)	正 大錦上中臣金連ニ命シ 神事ヲ宣ル (書紀)	三 大錦上中臣連ヲ遣シ山 御井傍ニ諸神座ヲ敷キ 幣帛ヲ班テ祝詞ヲ宣ス (書紀)	十 鎌足ニ大藏冠大臣ノ位 ヲ授ケ藤原朝臣ヲ賜ハ ル・藤原鎌足忌ス (攝 津阿波山ニ葬ル) (書紀)	〇 沙門道行草履履ヲ從テ 新羅ニ逃亡セントセシ ガ路ニ逃ヒ歸ル (書紀)					神祇史事項	
研究欄	(廿九紀)	(廿八紀)													研究欄

皇紀	1352	1351	1350	1349	1348	1347	
年次	壬辰 六	辛卯 五	庚寅 四	己丑 三	戊子 二	丁亥 元	
天皇	統 持						
大臣	子 皇 市 高						
神祇	? 嶋 大 臣 中 ?						
國史重要事項	正 天皇新益京路ヲ觀給 關五フ筑紫大宰ニ詔シ沙 シム	八二 公卿ニ命シ佛教ヲ奉 セシムヲ上ラシム 二 詔シテ十八氏ノ纂記	〇 一 始メテ元嘉曆ト儀 一 風曆トテ行フ 〇 數年來三韓歸化人多シ	四 詔シテ百官考化ノ制 ヲ定ム 一 始メテ元嘉曆ト儀 一 風曆トテ行フ 〇 數年來三韓歸化人多シ	二 元且皇太子百官ヲ率 キテ壇宮ニ突ス 二 新羅佛堂ヲ獻ス 一 濟シテ國忌日ニ必ズ 一 内陵ニ葬リ奉ル	九 物羅王ノ國政ヲ乞ヒ 國忌齋ヲ京師諸寺ニ 設ク 十 公卿百官國守國造ニ 役シ大内陵ヲ築ク	
神祇史事項	十 九 九 七 六 五 四 三 二 一 越前國白神宮ニ依テ越前國高飯神ニ封戸ヲ増シ給フ (書紀) 大受大等ヲ遣シ新羅調ヲ伊勢住吉紀伊大倭菟名ノ五社ニ奉ル (書紀)	十 八 四 〇 七 四 一 新羅神祇祭 (書紀) 二 大嘗祭神祇祭 (書紀) 三 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 四 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 五 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 六 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 七 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 八 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀)	〇 七 四 一 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 二 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 三 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 四 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 五 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 六 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 七 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 八 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀)	正 持統帝即位 (天武帝ノ皇后) (物部麻呂大盾ヲ樹テ神祇伯中臣大嶋天 神壽詞ヲ讀ム) (忌部宿禰神靈劍鏡ヲ奉テ上ス) (畿内天神地祇ニ班幣 給フ) (書紀)	八 百官神祇官ニ集會シテ天神地祇ノ事ヲ奉宣ス (書紀)		
研究欄							

皇紀	1346	1345	1344	1343	1342	1341	
年次	丙戌 七 朱鳥元	乙酉 三	甲申 二	癸未 一	壬午 〇	辛巳 九	
天皇	統 持 武 天						
國史重要事項	九 五 正 勸シテ諸寺ヲ掃清シ 天皇崩御 (六五—五八)	三 一 諸國家毎ニ佛舍ヲ作 シテ私家ニ藏スル兵器 ヲ郡家ニ收メシム	三 一 天皇京師巡幸宮室ノ 地ヲ定給フ 姓トス諸國境ヲ定 メシム	四 一 銅錢ヲ用ヒ銀錢ヲ禁 ス諸國ヲシテ陣法ヲ 習ハシム	九 四 三 新字四十四卷ヲ造ラ シム 男女結髮ノ制ヲ定ム ヲ止メテ立禮ヲ行フ	四 三 〇 諸事ヲ記シ及上古ノ 禁式九十二條ヲ立ツ	二 律令ヲ定メ法式ヲ改 メム 三 皇太子ヲ立テ皇太 子トス 四 諸事ヲ記シ及上古ノ 禁式九十二條ヲ立ツ
神祇史事項	十一 伊勢齊宮大來皇女歸京 (書紀)	八 七 國懸神ノ飛鳥四社ノ住吉社ノ大神ニ奉幣セシメ給フ (書紀)	六 四 多紀皇女等ヲ神宮ニ遣ス (書紀) 天皇不豫之ヲトシ給フニ草薙御前ナリトテ額ヲ熱田社ニ送還ス (書紀)	四 七 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀) 大地雲神社等塔其他破壞スルモノ多シ (書紀)	四 七 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀)	正 幣帛ヲ諸神祇ニ頒ツ〇畿内及諸國ニ詔シテ天社地社・神宮ヲ修理セ シム (書紀) 四 七 皇祖ノ御魂ヲ祭ル (書紀) 五 廣瀨龍田二神ヲ祭ル (書紀)	
研究欄	(三十一)						

皇紀	1364	1363	1362	1361	1360
年次	甲辰 元慶十	癸卯 三	壬寅 二	辛丑 元寶三	庚子 四
天皇	武 文				
先皇	統 持				
大臣	親 睦 忍		人 眞		
國史重要事項	九五正 百官見伏ノ禮ヲ改メテ元ス 遺新羅使ヲ任ス	四正 七道ノ政績ヲ巡省シ 右大臣阿部御主人薨 ス 十二 ニ持統天皇ヲ飛鳥岡 ニ火葬シ奉ル	八四三二 唱度量ヲ諸國ニ頒ツ ス 唱更國多嶽ノ氏ヲ定ム 御(五八) 十二 太上天皇(持統)崩	九八八五二 諸國ノ産業ヲ巡省シ 百姓ノ賑恤ス 明法博士ヲ六道ニ遣 ス 大實律令ナルヲ授ク 始メテ釋奠ヲ行フク 入唐使ノ節月ヲ授ク	六三二 刑部親王薨シ火葬ス シム 命部親王薨シ火葬ス シム 命部親王薨シ火葬ス シム
神祇史事項	十二 幣部諸社ニ幣帛・風鏡・菓子錦ヲ伊勢大神宮ニ奉ル(續紀)	六 引田朝臣廣目ヲ齋宮頭トナス(續紀)	十 奉建命御薨ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 神雲祭ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 神雲祭ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 奉建命御薨ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ	○十八 奉建命御薨ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 神雲祭ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 神雲祭ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 奉建命御薨ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ	四二 奉建命御薨ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 神雲祭ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 神雲祭ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ 奉建命御薨ニ使ヲ遣シ之ヲ祭ル○伊勢大神宮ノ服料ニ神戶調ヲ用フ
研究欄	續紀三		續紀二		

皇紀	1359	1358	1357	1356	1355	1354	1353	
年次	己亥 三	戊戌 二	丁酉 元	丙申 一〇	乙未 九	甲午 八	癸巳 七	
天皇	武 文 統 持							
先皇	統 持							
大臣	人 眞 鳥 比 治 多 (臣有)			市 高				
國史重要事項	十二 稻積二城ヲ修ス	五 越智山科二山陵ヲ修 ス 役小角ヲ伊豆嶋ニ流 ス	十七正 新羅朝貢使拜賀 ス 始メテ佛法ヲ制ス 對馬金銀ヲ治ス	八八 天皇即位持統天皇ニ 播磨阿波等八國 間二	六 公卿以下天皇不豫ノ タメ佛像ヲ造ル	七 後皇子尊(高市)薨ズ	〇 吉野宮行幸五度 新羅國政ヲ奏請ス	十二 巡祭使ヲ諸國ニ遣ス 大和藤井原藤原宮 ニ遷都(左右京坊)
神祇史事項	八 南嶋ノ獻物ヲ伊勢大神宮及諸社ニ奉ル(續紀)	十九 當事ニ仕スル藤原朝臣ノ其子不比等ヲシテ承ケシメ但意美麻呂等ハ神 物ヲ賜フ○大書祭神祇官人及事ニ供セシ尾張美濃二國郡司百姓ニ 度合郡ニ多氣大神宮寺ヲ遷ス(續紀)	八六五四三正 諸社ニ幣帛ヲ奉ル○京畿ニ使ヲ遣シ名山大川ニ祈雨ス(續紀) 諸社ニ幣帛ヲ奉ル○京畿ニ使ヲ遣シ名山大川ニ祈雨ス(續紀) 諸社ニ幣帛ヲ奉ル○京畿ニ使ヲ遣シ名山大川ニ祈雨ス(續紀) 諸社ニ幣帛ヲ奉ル○京畿ニ使ヲ遣シ名山大川ニ祈雨ス(續紀)	十六五四 正月ニ班幣(書紀)以上 神祇史事項	七 柿本人麻呂皇子薨去ヲ悲シミ奉リ神祇祈請ノ歌ヲ奉ル(萬葉集二)	四 使ヲ遣シ京師及四ノ畿内諸神祠ニ祈雨ス(書紀)	四 使ヲ遣シ京師及四ノ畿内諸神祠ニ祈雨ス(書紀)	
研究欄	續紀一		以上 書紀					

皇紀	1389	1388	1387	1386	1385	1384	1383
年次	己巳 八元 天	戊辰 五	丁卯 四	丙寅 三	乙丑 二	甲子 二 神龜	癸亥 七
天皇	武						正元
先皇	正元						元
大臣	人						舍
神祇	見廣臣中六						
國史重要事項	十一 京畿ニ班田使ヲオク	八四 藤原氏ノ光朝ノ皇孫トシテ大政ヲ掌ル	〇 光朝ノ皇孫トシテ大政ヲ掌ル	正 渤海朝貢ノ詔書	二二 國司ノ政職ヲ巡察セ	八 諸國重病者ニ醫藥ヲ給フ	九 三ノ人ヲ出家人道セ
神祇史事項	〇八 伊勢皇大神宮式年遷宮(大例)	四 勅シテ伊勢大神宮神戶ノ調三ノ百正ノ割テ神祇官ニ任用スル中	正 豐受宮大物忌父等數人御饗ヲ奉持シテ死穢ニ觸レシニヨリ大赦ヲ科	八 東宮ニ行幸皇太子ノ病ニヨリテ使ヲ遣シ諸陵ニ奉幣セシム(續紀)	七 東宮ニ行幸皇太子ノ病ニヨリテ使ヲ遣シ諸陵ニ奉幣セシム(續紀)	〇 出雲大己貴祠ヲ梓築ト改メ日岡宮ト爲ス(神史)	〇 出雲國造出雲臣廣嶋神賀辭ヲ奏ス廣嶋及祝部等ニ位ヲ授ケ祿ヲ賜
研究編	續紀十						

皇紀	1382	1281	1380	1379	1378	1377	
年次	壬戌 六	辛酉 五	庚申 四	己未 三	戊午 二	丁巳 一 養老	
天皇	正元						元
先皇	正元						元
大臣	王親人舍						
神祇	王親人舍						
國史重要事項	十一 唐王元仲飛舟ヲ遣テ進ル	八五 陸奥國所ニ攝戸一千	四 諸國ノ佛寺ヲ併合セ	七 長門ニ按察使ヲ置ク	五 日本書紀三十卷ヲ奉	二 始メテ右衛門少輔トシテ	
神祇史事項	七 諸國大旱ニテ名山ニ奉幣シ神祇ヲ尊祭祈雨スレド甘雨ナシ依テ天下ニ大赦ス(續紀)	九 勅シテ文武百官ヲシテ妻女姉妹ヲ率キテ六月十二月ノ大赦ニ會セシム	〇 豐前大神宮ニ始テ史生四人ヲ増員ス(續紀)	〇 日向大隅縣教士豐前守男入ノヲ減ス曾テ神憑ノ人アリ曰ク「官軍ノ死者多シ宜シク祭ヲ設ケ臣ヲ饗レ」ト是ニ放生祭ヲ設ク(神史)	六 神祇官宮主其他ニ合シ始テ把勢セシム(續紀)	四 筑後守道君首名辛ス死後百姓稱首トナシテ之ヲ祠ル(續紀)	二 遣唐使多治比縣守蓋山ノ南ニ天神地祇ヲ祀ル(續紀)
研究編	續紀九						

皇紀	1400	1399	1398	1397	1396
年次	庚辰 二	己卯 一	戊寅 一〇	丁丑 九	丙子 八
天皇	武		聖		
先皇	正		元		
大臣	王		鹿 鈴		
伯	?		代 名 臣 中 ?		
神祇					
國史重要事項	十二 起事山背國相樂郡恭仁宮ヲ造ル	九 起事山背國相樂郡恭仁宮ヲ造ル	六六 諸國七重塔ヲ造ラシム	七 諸國ノ正税ノ利ヲ免ス	五 諸國郡司ノ員數ヲ改定ス
神祇史事項	○十一 伊勢奉幣(續紀)	十九 伊勢奉幣(續紀)	○七 伊勢奉幣(續紀)	五 伊勢奉幣(續紀)	正 伊勢奉幣(續紀)
研究欄					

皇紀	1395	1394	1393	1392	1391	1390
年次	乙亥 七	甲戌 六	癸酉 五	壬申 四	辛未 三	庚午 二 太平
天皇	武		聖			
先皇	正		元			
大臣	人		合			
伯			見 廣			
神祇						
國史重要事項	十一 入唐大使歸朝節月ヲ改メ	七 天變地震ニヨリ大赦ス	〇〇 左右京及諸國飢疫	九 近江丹波等ニ遣唐使ヲ遣フ	七 雅樂寮員數ヲ定メラ	四 皇后職ニ施樂院ヲオク
神祇史事項	八 乙訓坐火雷神社ニ神封六戸ヲ奉ル	四 諸國大地震繼内七道ノ諸國ニ遣使シ破損セシ神祇並ニ陵墓ヲ檢査セシム	〇 吉備國備前國ノトキ播磨國備前國ニテ素戔嗚尊ノ靈ヲ見歸京シテ天皇ニ奏ス依テ天皇之ニ奉幣セラシム	〇七六 諸國早ニテ數々祭ヲ行ヘド雨ヲ得ズ	六 正 神祇官奏ス庭火御座ヲ以テ四時祭祀ス永ク常例トナス	六 神祇官曹司焼ク
研究欄	續紀十二					

皇紀	1406	1405	1404	1403	1402	1401	皇紀
年次	丙戌 一八	乙酉 一七	甲申 一六	癸未 一五	壬午 一四	辛巳 一三	年次
天皇	武 聖						天皇
先皇	正 元						先皇
左大臣	兄 諸 橋 (臣左大)						左大臣
右大臣	王 鹿 鈴						右大臣
伯耆	呂 麻 氏 奈 勢 瓦 七						伯耆
國史重要事項	十二 僧支助筑紫等寂滅 分寺ニテ入ス 七道御使使ヲ停ム	十六 大宰府置カス 都府平城宮ニ遷ス 平城宮ニ遷ル 兵器ヲ	四 造セシメテ國分寺ヲ催 九 造ス 二 造ス 四 造ス 二 造ス	八 東大寺建立ヲ始ム 東大寺西府ノ創置 十二 東大寺建立ヲ始ム	五 太子親ラ五節ヲ御タ 八 東大寺建立ヲ始ム 東大寺西府ノ創置 十二 東大寺建立ヲ始ム	八 大宰府ヲ廢ス 諸國ヲシテ奉テシム 十一 大宰府ヲ廢ス 諸國ヲシテ奉テシム	三 諸國ニ詔シ國分寺ヲ 建立ス 三 諸國ニ詔シ國分寺ヲ 建立ス
神祇史事項	○ ○ 八 齋宮寮ヲ創置ス (續紀) 宇佐八幡宮ヲ三位ニ叙シ封四百戸水田二十町ヲ奉ル天皇御授御新驗 宇佐八幡宮神東大寺大佛鑄造ニ神託アリ陸奥國金百二十兩ヲ同宮ニ奉ル (東大寺要錄)	○ 九 六 五 諸國ノ神社ニ祈雨奉幣 (續紀) 伊勢奉幣 (續紀) 吉備國尾等ノ神社ニ奉幣天皇ノ疾ヲ新ル ○ 宇佐八幡宮奉幣 (續紀) 宮先祖大第 (續紀) 吉備國尾等ノ神社ニ奉幣天皇ノ疾ヲ新ル ○ 宇佐八幡宮奉幣 (續紀) 宮先祖大第 (續紀)	九 七 五 大神主大神朝臣伊可保・大倭神主大倭宿禰水守與ニ從五位下ニ授 セラル (續紀) 伊勢神宮遷宮 (續紀) 伊勢神宮遷宮 (續紀)	八 八幡大神 (宇佐八幡)ノ祝部大神ノ宅女・大神ノ社女ニ外從五位下ヲ授ク (續紀)	五 畿内諸神社ニ祈雨奉幣 (續紀) 八 鴨川行幸鴨川ヲ宮川ト改稱賀茂二社ニ注テテナリ (續紀) 六 中臣朝臣清麻呂ヲ神祇大副トナス (續紀)	十一 橋諸兄ニ勅シテ東大寺建立ノ事ヲ伊勢神宮ニ新ラシム? (神宮)	正 伊勢及七道諸社奉幣遷都ヲ告ク (續紀) 三 宇佐八幡宮ニ詔冠一頭金宇最勝王經法華經各一部度者十八人封 戸ノ馬五疋等ヲ奉リ宿禰ヲ賽ス (續紀) 七 五勢朝臣奈麻呂ヲ神祇伯トナス (續紀)
研究欄	續紀十五						研究欄

皇紀	1412	1411	1410	1409	1408	1407	皇紀
年次	壬辰 四	辛卯 三	庚寅 二	己丑 一	戊子 〇	丁亥 一九	年次
天皇	武 聖						天皇
先皇	正 元						先皇
左大臣	兄 諸 橋 (臣左大)						左大臣
右大臣	王 鹿 鈴						右大臣
伯耆	呂 麻 氏 奈 勢 瓦 七						伯耆
國史重要事項	六 東大寺佛開眼供養 新羅王子拜朝	四 東大寺佛開眼供養 新羅王子拜朝	正 此年一年間我直山 大内山科我直山 等ノ陵ニ使テ遺シ新 羅王子來朝ノ狀ヲ告 ク	十一 賜王三十餘人ニ姓ヲ 賜フ 十一 賜王三十餘人ニ姓ヲ 賜フ	三 戰國河津流矢人英 京中雨澤況溢人英 元正天皇ヲ奈保山陵 ニ奉改葬	七 天皇即位 七 天皇即位	四 行基菩薩ノ號ヲ賜フ 二月寂ス 四 行基菩薩ノ號ヲ賜フ 二月寂ス
神祇史事項	八 京師ノ巫覡十七人ヲ伊豆土佐隱岐ニ流ス (續紀)	四 出雲國造神賀事ヲ奏ス依テ位ヲ進メ物ヲ賜フ (續紀) 伊勢以下畿内七道諸神社ニ奉幣遣唐使ノ平安ヲ祈ル (續紀)	二 大安殿ニ行幸出雲國造出雲臣弟山神賀事ヲ奏ス ○ 八幡大神ニ封八 百戸位田八十町ヲ充ツ ○ 比賣神ニ封六百戸位田六十町ヲ充ツ (續紀) 八幡大神ノ神教ニヨリ藤原朝臣乙麻呂ニ從三位ヲ授シ大宰帥ニ任ス (續紀)	十一 出雲國造神賀事ヲ奏ス依テ位ヲ進メ物ヲ賜フ (續紀) 伊勢以下畿内七道諸神社ニ奉幣遣唐使ノ平安ヲ祈ル (續紀)	二 大安殿ニ行幸出雲國造出雲臣弟山神賀事ヲ奏ス ○ 八幡大神ニ封八 百戸位田八十町ヲ充ツ ○ 比賣神ニ封六百戸位田六十町ヲ充ツ (續紀) 八幡大神ノ神教ニヨリ藤原朝臣乙麻呂ニ從三位ヲ授シ大宰帥ニ任ス (續紀)	七 天皇即位 七 天皇即位	四 行基菩薩ノ號ヲ賜フ 二月寂ス 四 行基菩薩ノ號ヲ賜フ 二月寂ス
研究欄	續紀十八						研究欄

皇紀	1422	1421	1420	1419	1418
年次	壬寅 六	辛丑 五	庚子 四	己亥 三	戊戌 二
天皇	仁 淳 二 謙 孝				
先皇	諱 孝				
大臣	藤 押 美 慈 廣 仲 原 藤				
伯耆	足 年				
國史重要事項	五 二 二 十一 七 正 十二 六 正 十一 九 正 八 八	二 十 十 十一 七 正 十二 六 正 十一 九 正 八 八	二 十 十 十一 七 正 十二 六 正 十一 九 正 八 八	二 十 十 十一 七 正 十二 六 正 十一 九 正 八 八	二 十 十 十一 七 正 十二 六 正 十一 九 正 八 八
神祇史事項	十二 十一 十九 十 八 正 八	十二 十一 十九 十 八 正 八	十二 十一 十九 十 八 正 八	十二 十一 十九 十 八 正 八	十二 十一 十九 十 八 正 八
研究欄	續紀廿四	續紀廿三	續紀廿二	續紀廿一	續紀廿一

皇紀	1417	1416	1415	1414	1413
年次	丁酉 八 六 寶天 元 字平	丙申 八	乙未 七	甲午 六	癸巳 五 勝天 寶平
天皇	謙 孝 聖 謙 孝				
先皇	諱 孝				
大臣	兄 武 聖 謙 孝				
伯耆	足年用石 六 麻呂 奈兵				
國史重要事項	五 四 四 正 八 六 五 五 十 六 正 十一 三 二 九 五 二	五 四 四 正 八 六 五 五 十 六 正 十一 三 二 九 五 二	五 四 四 正 八 六 五 五 十 六 正 十一 三 二 九 五 二	五 四 四 正 八 六 五 五 十 六 正 十一 三 二 九 五 二	五 四 四 正 八 六 五 五 十 六 正 十一 三 二 九 五 二
神祇史事項	六 〇 十五 四 二 一 十一 三 四 十 十一 三 二 正	六 〇 十五 四 二 一 十一 三 四 十 十一 三 二 正	六 〇 十五 四 二 一 十一 三 四 十 十一 三 二 正	六 〇 十五 四 二 一 十一 三 四 十 十一 三 二 正	六 〇 十五 四 二 一 十一 三 四 十 十一 三 二 正
研究欄	續紀十九	續紀十九	續紀十九	續紀十九	續紀十九

皇紀	1452	1451	1450	1449	1448	1447	1446
年次	壬一 申一	辛一 未一〇	庚九 午九	己八 巳八	戊七 辰七	丁六 卯六	丙五 寅五
天皇	武			桓			
先皇	是			公			
右大臣	魚			老			
伯耆	諸			子			
國史重要事項	<p>八 赤目崎ニ幸シ洪水ヲ 七 富良野ノ奢靡ヲ禁 六 赤目崎ニ幸シ洪水ヲ 五 赤目崎ニ幸シ洪水ヲ 四 赤目崎ニ幸シ洪水ヲ 三 赤目崎ニ幸シ洪水ヲ 二 赤目崎ニ幸シ洪水ヲ 一 赤目崎ニ幸シ洪水ヲ</p>	<p>八 畿内班田使ヲ補ス 七 畿内班田使ヲ補ス 六 畿内班田使ヲ補ス 五 畿内班田使ヲ補ス 四 畿内班田使ヲ補ス 三 畿内班田使ヲ補ス 二 畿内班田使ヲ補ス 一 畿内班田使ヲ補ス</p>	<p>八 大宰府所部飢民九萬 七 大宰府所部飢民九萬 六 大宰府所部飢民九萬 五 大宰府所部飢民九萬 四 大宰府所部飢民九萬 三 大宰府所部飢民九萬 二 大宰府所部飢民九萬 一 大宰府所部飢民九萬</p>	<p>三 諸軍多賀城ニ會シ蝦夷ヲ討テ之ヲ降シ 二 諸軍多賀城ニ會シ蝦夷ヲ討テ之ヲ降シ 一 諸軍多賀城ニ會シ蝦夷ヲ討テ之ヲ降シ</p>	<p>三 比叡山延暦寺創建 二 比叡山延暦寺創建 一 比叡山延暦寺創建</p>	<p>三 山背國白雉ヲ獻ズ 二 山背國白雉ヲ獻ズ 一 山背國白雉ヲ獻ズ</p>	<p>六 勳シテ諸國公卿處分 五 勳シテ諸國公卿處分 四 勳シテ諸國公卿處分 三 勳シテ諸國公卿處分 二 勳シテ諸國公卿處分 一 勳シテ諸國公卿處分</p>
神祇史事項	<p>三 南院ニ幸シ禊飯 (紀略) ○伊勢神宮造營(失火ニ遭リテ以テナリ) (紀略)</p> <p>二 安曇・高橋二氏神事坐位先後ノ供奉ニテ爭フ (神史)</p> <p>一 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p>	<p>十 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>九 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>八 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>七 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p>	<p>十九 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十八 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十七 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>九 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>八 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>七 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p>	<p>〇 三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p>	<p>七 五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p>	<p>〇 十一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>九 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>八 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>七 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p>	<p>〇 十二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>九 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>八 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>七 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p>
研究欄	以上續紀			續紀四十		續紀卅九	

皇紀	1445	1444	1443	1442	1441	皇紀
年次	乙四 丑四	甲三 子三	癸二 亥二	壬元 戌元	辛二 酉二	天應 元四
天皇	武			桓		
先皇	是			公		
右大臣	魚			老		
伯耆	諸			子		
國史重要事項	<p>十八 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>十七 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>十六 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>十五 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>十四 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>十三 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>十二 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>十一 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>十 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>九 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>八 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>七 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>六 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>五 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>四 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>三 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>二 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>一 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p>	<p>十二 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>十一 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>十 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>九 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>八 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>七 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>六 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>五 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>四 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>三 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>二 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>一 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p>	<p>六 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>五 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>四 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>三 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>二 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>一 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p>	<p>正 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>四 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>三 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>二 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>一 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p>	<p>正 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>四 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>三 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>二 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>一 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p>	<p>正 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>四 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>三 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>二 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>一 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p>
神祇史事項	<p>十九 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十八 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十七 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>九 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>八 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>七 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p>	<p>十五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>十 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>九 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>八 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>七 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>六 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>五 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>四 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>三 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>二 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p> <p>一 伊勢神宮ニ詣ルヲ禁ス (續紀)</p>	<p>六 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>五 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>四 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>三 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>二 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p> <p>一 大政官符齊内親王親ノ日ノ供給其他ヲ停止セラル (神史)</p>	<p>正 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>四 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>三 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>二 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>一 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p>	<p>正 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>四 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>三 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>二 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>一 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p>	<p>正 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>四 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>三 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>二 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p> <p>一 皇太子宿禰アルニヨツテ伊勢神宮ニ詣ズ (續紀)</p>
研究欄	續紀卅八			續紀卅七		續紀卅六

皇紀	1471	1470	1469	1468
年次	辛卯 二	庚寅 弘元 九元 九	己丑 四	戊子 三
天皇	娥	嵯	平	城
先皇	城	平		
右大臣	藤原	藤原	藤原	藤原
左大臣	藤原	藤原	藤原	藤原
國史重要事項	五 農氏ノ魚酒ヲ喫スル 五 坂上田村麻呂墓 十一 左右衛門トス	九九 平城遷都ノ事 五三 藤原仲成ノ亂 三 始メテ攝人所ヲ置ク	四四 高岳親王・天皇即位 九 觀祭使起請十六條ヲ 十 渤海入貢	二 上野廣成古語拾遺ヲ 三 諸國ヲシテ仁王經ヲ 五 講卷直等大同類聚 八 安倍成直等大同類聚 八 諸國ヲシテ仁王經ヲ 八 勅シテ調庸關意ナキ
神祇史事項	九九七六五三二 修太政官符ヲテ諸國ノ神ノ修セシム	〇一十九 七五四 代皇八幡大菩薩ノ御祭事ヲ奉テ賀スル	八五四 閏正 仁諸國ノ神祇ヲ修造ノ遲レタルヲ戒ム	正 一 一 八七五四二 近江國大津ニ御祭セラルル
研究欄	後紀廿一			後紀十七

皇紀	1467	1466	1465	1464	1463	1462
年次	丁亥 二	丙戌 大元 六元 六	乙酉 二四	甲申 三	癸未 三	壬午 三 延暦
天皇	城	平	武	桓		
先皇						
右大臣	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原
左大臣	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原	藤原
國史重要事項	八 憲法十五條ヲ頒ツ 十 國司交替六考ヲ以テ	八 空海歸國ノ事 五 天智天皇御遷都ノ事 三 柏原山御遷都ノ事	七 宗廟三殿ニ獻ス 四 最澄大師ノ歸リ天台 正 崇道天皇ノ爲ニ寺ヲ	三 陸奥志波城ヲ築ク 正 坂上田村麻呂ノ陸奥 守府ヲ移ス		
神祇史事項	十九 大嘗會ノ事 八 賀茂神社ノ御祭事	〇一十八 五 四 三二 伊勢國神宮以下ノ神祇ヲ修造ス	〇十九 七 四 二 賀茂神社ノ御祭事	六 五 二 大和國石上ノ神祇ヲ修造ス	六 正 丹生川上ノ神祇ヲ修造ス	正 陸奥三神ニ神階ヲ加フ
研究欄			後紀十三	後紀十二		研究欄

皇紀	1493	1492	1491	1490	1489	1488	
年次	癸丑 一〇	壬子 九	辛亥 八	庚戌 七	己酉 六	戊申 五	
天皇	明仁	和	和	和	淳	淳	
先皇	(和)	(和)	嵯	嵯	嵯	嵯	
右大臣	副	(臣大)	副	副	副	副	
伯耆	魚	淵	臣	中	大	+	
國史重要事項	十五 山陵ニモモナル 二 武藏ニ悲田所ヲ置ク 四 節會ヲ五月五日ニ復ス 三 柏原山陵ニ即位ス 二 起野野野新撰令釋疑 二 天皇即位 二 天皇即位	五 皇太后雲林亭ニ御シ 四 皇太后雲林亭ニ御シ 四 皇太后雲林亭ニ御シ 四 皇太后雲林亭ニ御シ 四 皇太后雲林亭ニ御シ	〇 卷野眞主秘府略一千 八 山城河内ニ米室ヲ各 十 檢非違使成ヲ設置ス 七 檢非違使成ヲ設置ス 七 檢非違使成ヲ設置ス 七 檢非違使成ヲ設置ス	五 諸國ニ詔シテ水車ヲ 三 諸國ニ詔シテ水車ヲ 三 諸國ニ詔シテ水車ヲ 三 諸國ニ詔シテ水車ヲ 三 諸國ニ詔シテ水車ヲ	八 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク	八 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク	
神祇史事項	十二 伊勢奉幣 十八 伊勢奉幣 七 伊勢奉幣 六 伊勢奉幣 四 伊勢奉幣 三 伊勢奉幣	八 伊勢奉幣 七 伊勢奉幣 五 伊勢奉幣 五 伊勢奉幣 五 伊勢奉幣	十九 伊勢奉幣 十八 伊勢奉幣 八 伊勢奉幣 八 伊勢奉幣 八 伊勢奉幣	十九 伊勢奉幣 十八 伊勢奉幣 八 伊勢奉幣 八 伊勢奉幣 八 伊勢奉幣	二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣	二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣	二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣
研究編	一續 二後						

皇紀	1487	1486	1485	1484	1483		
年次	丁未 四	丙午 三	乙巳 二	甲辰 一	癸卯 一		
天皇	和	和	和	淳	弘仁		
先皇	和	和	和	淳	嵯		
右大臣	副	副	副	副	副		
伯耆	魚	淵	臣	中	大		
國史重要事項	七 山陵ニモモナル 五 武藏ニ悲田所ヲ置ク 五 節會ヲ五月五日ニ復ス 正 起野野野新撰令釋疑 正 天皇即位 正 天皇即位	七 皇太后雲林亭ニ御シ 六 皇太后雲林亭ニ御シ 六 皇太后雲林亭ニ御シ 六 皇太后雲林亭ニ御シ 六 皇太后雲林亭ニ御シ	十一 卷野眞主秘府略一千 八 山城河内ニ米室ヲ各 十 檢非違使成ヲ設置ス 七 檢非違使成ヲ設置ス 七 檢非違使成ヲ設置ス	五 諸國ニ詔シテ水車ヲ 三 諸國ニ詔シテ水車ヲ 三 諸國ニ詔シテ水車ヲ 三 諸國ニ詔シテ水車ヲ 三 諸國ニ詔シテ水車ヲ	八 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク	八 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク 正 畿内班田使ヲ置ク	
神祇史事項	〇 伊勢奉幣 五 伊勢奉幣 四 伊勢奉幣 四 伊勢奉幣 四 伊勢奉幣	九 伊勢奉幣 九 伊勢奉幣 九 伊勢奉幣 九 伊勢奉幣 九 伊勢奉幣	十 伊勢奉幣 十 伊勢奉幣 十 伊勢奉幣 十 伊勢奉幣 十 伊勢奉幣	十 伊勢奉幣 十 伊勢奉幣 十 伊勢奉幣 十 伊勢奉幣 十 伊勢奉幣	二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣	二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣	二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣 二 伊勢奉幣
研究編							

皇紀	1509	1508
年次	己巳 二	戊辰 六 元嘉祥
天皇	明	仁
左大臣	常	常
右大臣	名	永
國史重要事項	四 諸國穀價ヲ改メシム 十二 大宰府豐後守登美直名ノ謀反ヲ奏ス 閏十二 京城ヲ巡省シ給	正 七道ニ仰セテ六尺以上ノ者ヲ貢セシム 三 救急院ヲ相模ニ置ク 八 京中大洪水 九 長者大錢ヲ鑄ル 十二 和氣齊之大不敬ヲ犯ス依テ伊豆ニ流ス
神祇史事項	正 伊勢多度神宮寺法雲寺ヲ眞言別院トス (續後) 二 武藏伊波比神 (從五位下) ○勸シテ松尾社ニ遷シテ祭ル 三 武藏七道諸國ニ合シテ奉幣セシム ○丹波龍神 (從五位下) ○讚岐阿波神 (從五位下) ○常陸稻村神宮社ニ預ル水草ノ時必ス感テ 四 豐後宇奈岐比咩神 (從五位下) ○豐後大分神宮ニ奉ル廿一年一度ノ例ナリ ○山城大群神 (從五位下) 五 美濃基神官社ニ預ル (續後) 六 伊勢大神宮ニ奉ル (續後) 七 加賀忌浪神 (從五位下) (續後) 八 武藏奈良神 (從五位下) (續後) 九 武藏立天照神 (從五位下) (續後) 十 皇大神宮式年遷宮 (神宮) (續後)	正 二 陸奥天佐比古命神 (從五位下) ○賀茂御祖大社ニ御戶代田一町ヲ充ツ 三 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 四 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 五 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 六 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 七 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 八 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 九 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 十 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 十一 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 十二 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後)
研究編	續後十九	續後十八

皇紀	1507	1506	1505	1504
年次	丁卯 一 四	丙寅 一 三	乙丑 一 二	甲子 一 一 承和
天皇	明	仁	仁	承和
左大臣	常	常	源	源
右大臣	永橋 四 名	佐田 二 主波 口	寬 源 八	氏 橋
國史重要事項	十二 橋氏公薨ズ 十一 僧圓仁唐ヨリ歸ル 八 施藥院ニ史生四員ヲオク 五 天皇始メテ漢書ヲ讀給フ 三 勸王世所上言ニヨリ畿内ノ皇胤ヲ錄シ氏姓ノ出自ヲ申告セシム 六 諸王ニ清原眞人ノ姓ヲ賜フ	三 勸王世所上言ニヨリ畿内ノ皇胤ヲ錄シ氏姓ノ出自ヲ申告セシム 六 諸王ニ清原眞人ノ姓ヲ賜フ	正 尾張濱主和風長壽樂ノ舞ヲ奏ス 八 洪路國ニ船及渡子ヲ置キ明石ト往還ス 九 難波川ヲ葺掃ス	間 仁壽殿ニ御シ始メテ林邑樂ヲ奏セシメ給フ 十 攝津鴻臚館ヲ以テ國府トス
神祇史事項	十二 河内丹比神 (從五位下) ○百濟王慶世ヲ奇院長官トナス (續後) 十一 陸奥宇奈良神 (從五位下) ○尾張大縣天神眞清田天神 (從五位下) (續後) 七 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 六 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 五 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 四 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 三 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 二 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後)	九 常陸中山山縣命神 (從五位下) (續後) 八 常陸中山山縣命神 (從五位下) (續後) 七 常陸中山山縣命神 (從五位下) (續後) 六 常陸中山山縣命神 (從五位下) (續後) 五 常陸中山山縣命神 (從五位下) (續後) 四 常陸中山山縣命神 (從五位下) (續後) 三 常陸中山山縣命神 (從五位下) (續後) 二 常陸中山山縣命神 (從五位下) (續後)	十九 越中龍坂神 (從五位上) 日置神 (從五位下) ○伊勢奉幣 (續後) 十八 新嘗祭 (從五位上) 十二 稻荷神ヲ名神ニ預ル (續後) 七 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 六 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 五 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 四 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 三 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後) 二 備前山縣山縣命神 (從四位上) (續後)	十一 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 十 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 九 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 八 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 七 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 六 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 五 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 四 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 三 伊勢奉幣 (從四位下) (續後) 二 伊勢奉幣 (從四位下) (續後)
研究編	續後十七	續後十六	續後十五	續後十四

皇紀	1516	1515	1514
年次	丙子 三	乙亥 二	甲戌 元 齊衡
天皇	德 文		
右大臣	房	良	藤 永
左大臣	常		
國史重要事項	<p>○ 地震多シ</p> <p>○ 壇林寺成ル</p>	<p>五 地寶多シ東大寺大佛頭落ツ</p>	<p>三 不動稻三萬五千餘東給ス</p> <p>六 左大臣源常義ス</p> <p>十二 陸奥亂ル</p> <p>○ 飢民多ク稻穀等賑給シタマフ事多シ</p>
神祇史事項	<p>十二 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>十一 河内國新羅山ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>九 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>八 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>六 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>五 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>四 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>三 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>二 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p>	<p>十二 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>十一 河内國新羅山ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>九 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>八 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>七 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>五 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>四 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>三 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p> <p>二 天常陸國鹿島郡大洗磯前ニ神新ニ降ルト云フ (文德)</p>	<p>三 越中高瀨神ニ上神(從三位)○伊豫藤玉比賣神(從五位下)○相模寒川神(從四位下)</p> <p>四 河内國大雷火明神(從五位下)○宮内省國神(從三位)○磯アリ賀茂若經ヲ轉シ山神(從三位)○宮内省國神(從三位)○磯アリ賀茂若經ヲ轉シ山神(從三位)</p> <p>六 阿波國神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○阿波國神戶次郎伊弉諾命(從五位上)</p> <p>九 伊勢國神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊勢國神戶次郎伊弉諾命(從五位上)</p> <p>十二 伊勢國神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊勢國神戶次郎伊弉諾命(從五位上)</p>
研究欄	文德八	文德七	文德六

皇紀	1513	1512
年次	癸酉 三	壬申 二 仁壽
天皇	德 文	
右大臣	常	
左大臣	永	
國史重要事項	<p>十二 諸國ヲシテ毎年陰陽書法ニヨリ書氣ヲ觀メシム</p> <p>六 諸王子女九人ニ源姓ヲ賜フ</p> <p>二 慶内親王ヲ患ヒ死者多シ</p>	<p>八 慶院米ヲ以テ京師ヲ賑給ス</p> <p>二 滋野貞主卒ス</p> <p>二 播磨國雲雲ノ見ル</p>
神祇史事項	<p>○ 十 加賀國白山郡神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>八 加賀國白山郡神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>七 加賀國白山郡神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>六 加賀國白山郡神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>五 加賀國白山郡神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>四 加賀國白山郡神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>三 加賀國白山郡神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>二 加賀國白山郡神戶次郎伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p>	<p>十二 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>十一 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>十 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>九 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>八 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>七 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>六 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>五 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>四 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>三 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p> <p>二 丹波國伊弉諾命(從五位上)○伊弉諾命(從五位上)</p>
研究欄	文德五	文德四

皇紀	1519		皇紀	1517	
年次	貞觀 二元 己卯		年次	天安 三元 丁丑	
天皇	和 清		天皇	和 清 德 文	
大臣	房 良		大臣	房 良	
神祇	名 永		神祇	名 永	
國史重要事項	<p>二 藤原良相奏請崇親院延命院ヲ建ツ</p> <p>四 勳シテ徳益神錢ヲ鑄ル</p> <p>五 渤海入貢</p> <p>七 諸國寺院堂塔ヲ修理セシム</p> <p>八 大和吉野郡高山ニテ陰陽寮ヲシテ高山祭ヲ修セシム</p>		<p>正 右大臣良房太政大臣トナル</p> <p>正 大行曆ヲ廢シ五紀曆ヲ用フ</p> <p>三 群盜横行之ヲ捕ヘシム</p> <p>四 近江相坂關ヲ復シ大石龍華ノ二關ヲ置ク</p>		
神祇史事項	<p>正 二 讚岐氣道神社ニ列ス</p> <p>二 伊勢大宮神社ニ列ス</p> <p>三 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>四 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>五 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>六 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>七 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>八 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>九 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十一 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十二 大和波瀲神社ニ列ス</p>		<p>二 伊勢大宮神社ニ列ス</p> <p>三 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>四 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>五 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>六 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>七 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>八 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>九 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十一 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十二 大和波瀲神社ニ列ス</p>		
研究欄	三代二		文徳十		研究欄

皇紀	1518		皇紀	1517	
年次	貞觀 二元 戊寅		年次	天安 三元 丁丑	
天皇	和 清 德		天皇	和 清 德 文	
大臣	房 良		大臣	房 良	
神祇	名 永		神祇	名 永	
國史重要事項	<p>二 藤原良相奏請崇親院延命院ヲ建ツ</p> <p>四 勳シテ徳益神錢ヲ鑄ル</p> <p>五 渤海入貢</p> <p>七 諸國寺院堂塔ヲ修理セシム</p> <p>八 大和吉野郡高山ニテ陰陽寮ヲシテ高山祭ヲ修セシム</p>		<p>正 右大臣良房太政大臣トナル</p> <p>正 大行曆ヲ廢シ五紀曆ヲ用フ</p> <p>三 群盜横行之ヲ捕ヘシム</p> <p>四 近江相坂關ヲ復シ大石龍華ノ二關ヲ置ク</p>		
神祇史事項	<p>正 二 讚岐氣道神社ニ列ス</p> <p>二 伊勢大宮神社ニ列ス</p> <p>三 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>四 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>五 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>六 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>七 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>八 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>九 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十一 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十二 大和波瀲神社ニ列ス</p>		<p>二 伊勢大宮神社ニ列ス</p> <p>三 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>四 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>五 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>六 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>七 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>八 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>九 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十一 大和波瀲神社ニ列ス</p> <p>十二 大和波瀲神社ニ列ス</p>		
研究欄	三代一		文徳十		研究欄

皇紀	1523	1522
年次	癸未 五	壬午 四
天皇	和	清
大臣	房	良
伯	志	逸
神		
史		
重		
要		
事		
項		
研究		
備		

皇紀	1521	1520
年次	辛巳 三	庚辰 二
天皇	和	清
大臣	房	良
伯	志	逸
神		
史		
重		
要		
事		
項		
研究		
備		

皇紀 年次 天皇 先皇 關白 攝政 神祇	1538	
	戊 二	
	成 陽	
	和 清 經 基 貞 棟	
國史重要事項	正 京師飢饉	十二 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)
	三 出羽俘夷叛ス	十一 近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)
神祇史事項	三 出羽俘夷叛ス	十一 近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)
	三 出羽俘夷叛ス	十一 近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)
研究欄	三 出羽俘夷叛ス	十一 近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)
	三 出羽俘夷叛ス	十一 近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)

皇紀 年次 天皇 先皇 關白 攝政 神祇	1537	1536	皇紀 年次 天皇 先皇 關白 攝政 神祇
	丁酉 元慶	丙申 貞觀	
	成 陽	和 清	
	和 清 經 基 王 貞 棟		
國史重要事項	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	國史重要事項
	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	
神祇史事項	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	神祇史事項
	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	
研究欄	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	研究欄
	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	十一 近江油日神(從五位下)○竹野山(從五位下)天照神(從五位下)○近江伊富岐(從三位)○正稅ヲ以テ社寺ノ庸ニ當ツ(三代)	

皇紀	1546	1545
年次	丙午 二	乙巳 三 仁元 和
天皇	孝	光
先皇	成	陽
攝政	經	基
白河	貞	棟
神祇		
國史重要事項	<p>四 大地震</p> <p>六 奥羽及比大宰府管内ノ警備ヲ嚴ニス</p> <p>十 圓珍紫宸殿ニ護摩法ヲ修シ天皇ノ病平癒ス</p>	<p>八 九州地方等ヲシテ警固ヲ慎マシム</p> <p>十 大宰府ニ令シ唐物私買ヲ禁ズ</p> <p>十一 左右近衛兵衛府等送ル所ノ釋奠祭牲ヲ定ム</p>
神祇史事項	<p>四 石清水八幡宮ノ推</p> <p>五 石清水八幡宮ノ推</p> <p>六 石清水八幡宮ノ推</p> <p>七 石清水八幡宮ノ推</p> <p>八 石清水八幡宮ノ推</p> <p>九 石清水八幡宮ノ推</p> <p>十 石清水八幡宮ノ推</p> <p>十一 石清水八幡宮ノ推</p> <p>十二 石清水八幡宮ノ推</p>	<p>二 山城葛野郡上木嶋下木嶋兼田五段ヲ平野神社ニ班田ヲ貞觀十七年以來國簿ニ録セサルヲ以テ之ヲ完セシム○山城愛宕紀伊二郡官田七町百三十三歩平野神社預ニ充ツ○下野三和神(從四位下)肥前天山神(正五位下)和佐津彦神(從五位下)伊豫德威神門神(從五位下)大嘗祭ニ與ル伊勢備前兩國ノ地ヲ免租ス(從三位)○陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>三 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>四 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>五 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>六 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>七 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>八 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>九 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>十 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>十一 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p> <p>十二 陸奥天健金草明神(從四位上)○甲斐建國神藤式神(從五位下)(三)</p>
研究欄	三代四九	七・四八

皇紀	1544	1543
年次	甲辰 八	癸卯 七 元慶
天皇	孝	成
先皇	光	陽
攝政	陽	基
白河	成	棟
神祇		
國史重要事項	<p>二 天皇讓位</p> <p>二 天皇即位</p> <p>二 太上天皇ニ封二千戸ヲ充奉ル</p> <p>六 勅シテ天下ノ事先ズ基經ニ諮察シテ後奏聞セシム</p> <p>九 遠江濱名橋改造</p> <p>十二 十陵五墓ヲ改定ス</p>	<p>二 上總國俘囚ノ叛タリ追捕ス</p> <p>五 天皇豐樂殿ニ御シ諸海客徒ニ賜宴</p> <p>五 大宰府ノ怠慢ヲ責ム</p> <p>十二 山城大和等十一ヶ國禁野ニ於テ百姓ノ搦蘇スルヲ聽ス</p>
神祇史事項	<p>二 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>三 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>四 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>五 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>六 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>七 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>八 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>九 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>十 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>十一 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p> <p>十二 伊勢神宮山階柏原城深草山陵ニ即位ノ由ヲ告ク大神宮始メ諸社編</p>	<p>二 佐渡大庭神(從五位下)(三代)</p> <p>三 松尾賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p> <p>四 諸社奉幣丹生川上社ニハ白馬ヲ加ヘ奉幣止雨ヲ祈ル○豐後建國</p> <p>五 賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p> <p>六 賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p> <p>七 賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p> <p>八 賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p> <p>九 賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p> <p>十 賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p> <p>十一 賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p> <p>十二 賀茂御祖別雷稻荷貴布瀨水主乙訓ノ七社ニ祈雨奉幣(三代)</p>
研究欄	四・四四	三・四四

皇紀	1553	1552	1551
年次	癸丑 五	壬子 四	辛亥 三
天皇	多		宇
先皇	成		陽
左大臣	融		源
右大臣			經基
伯耆	?	行	春
國史重要事項	<p>九 菅原道眞新撰萬葉集ヲ撰進ス</p> <p>五 新羅城肥前松浦ニ寇ス</p> <p>四 敦仁親王ヲ皇太子トス</p> <p>三 内裏火アリ</p>	<p>十 菅原道眞類聚國史ヲ撰上ス</p> <p>六 僧昌住新撰字鏡ヲ著ス</p> <p>五 源能等有等ニ勅シテ國史ヲ撰修セシム</p> <p>正 渤海使出雲國ニ來ル</p>	<p>二 藤原基經薨ス</p> <p>二 隱岐ニ新羅人漂着ス</p> <p>二 菅原道眞ヲ藏人頭ニ補ス</p> <p>十 僧圓珍寂ス</p>
神祇史事項	<p>○十二 僧圓珍妄說ヲ唱ヘ神祇ニ託テ賀茂以下諸名神ノ爲ニ度僧ヲ請フ(類三)</p> <p>十一 越前氣比神社ノ神封ヲ分テ賀茂以下諸名神ノ爲ニ度僧ヲ請フ(類三)</p> <p>十 城ノ人民ノ居住スルコトヲ禁ズ(新嘗祭例集)</p> <p>九 大和宗像神社ニ祭神ノ料ニ賤代ノ儀ヲ行ハシム(類三)</p> <p>八 山城國ノ神社ニ祭神ノ料ニ賤代ノ儀ヲ行ハシム(類三)</p> <p>七 山崎國ノ神社ニ祭神ノ料ニ賤代ノ儀ヲ行ハシム(類三)</p> <p>六 諸國ノ神社ニ祭神ノ料ニ賤代ノ儀ヲ行ハシム(類三)</p> <p>五 三社奉幣(續) 廣野神社ヲ以テ國神兩社ヲ修造セシム(類三)</p> <p>四 三社奉幣(續) 廣野神社ヲ以テ國神兩社ヲ修造セシム(類三)</p> <p>三 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p>	<p>十二 肥後國分寺ニ勅シテ諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>十一 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>十 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>九 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>八 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>七 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>六 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>五 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>四 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>三 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>二 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p> <p>一 諸國ノ社司神主等ニ檢察ヲ加(四箇箇祭(前年月次新嘗)ヲ敬祀セシム(類三))</p>	<p>正 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>二 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>三 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>四 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>五 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>六 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>七 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>八 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>九 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>十 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>十一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>十二 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p>
研究編			

皇紀	1550	1549	1548	1547
年次	庚戌 二	己酉 元 寬平	戊申 四	丁未 三 仁和
天皇	多		宇	光
先皇	成		陽	孝
左大臣	經		基	白
右大臣			望	棟
伯耆	?	王	望	棟
國史重要事項	<p>○十二 僧通照寂ス</p> <p>十二 基經關白大政大臣ノ弟ヲ許シ給フ</p> <p>十一 橋廣相ヲシテ藏人式ヲ撰上セシム</p>	<p>○五 高望王ニ平朝臣姓ヲ賜フ</p> <p>四 金剛寺ニ始メテ座主職ヲ置ク</p>	<p>八 仁和寺金堂落慶</p> <p>九 仁勢金剛ヲシテ賢聖障子ヲ畫カシム</p> <p>十 源多榮ズ</p>	<p>○十一 高野山眞言堂多寶塔建立ス</p> <p>十八 天皇即位</p> <p>八 定省親王ヲ皇太子トス</p> <p>八 天皇崩御(五八)</p> <p>十一 伊豆國新生島ノ開</p>
神祇史事項	<p>十一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>十 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>九 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>八 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>七 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>六 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>五 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>四 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>三 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>二 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p>	<p>十一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>十 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>九 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>八 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>七 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>六 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>五 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>四 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>三 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>二 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p>	<p>十一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>十 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>九 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>八 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>七 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>六 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>五 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>四 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>三 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>二 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p>	<p>十一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>十 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>九 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>八 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>七 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>六 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>五 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>四 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>三 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>二 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p> <p>一 伊勢石清水賀茂松尾平野春日大原野社奉幣(類略)</p>
研究編				

日本書紀卷之五十五

皇紀	1569	1568	1567	1563
年次	己巳九	戊辰八	丁卯七	丙寅六
天皇	關		醍	
先皇	(成陽)		(多宇)	
左内大臣	源大	平	時	
右大臣	隆		邦	
左大將	?			
右大將				
國史重要事項	正 常平倉ノ設價ヲ定ム 四 藤原時平薨ズ 七 僧聖實寂ス 七 下總國亂ル	正 伯耆國渤海使ノ來著 五 官符捺印ノ制ヲ定ム 十 藤原菅根卒ス 十二 延喜格ヲ施行ス	七 延喜通寶錢ヲ鑄ル 九 宇多法皇大興川ニ御幸 ○ 藤原時平延喜式ヲ撰上ス	四 天皇藤原菅根ヲ召シ史記ヲ讀ミ給フ 九 鈴鹿山ノ群盜ヲ誅殺ス ○ 山城醍醐寺建立
神祇史事項	二 新嘗祭(北山) 三 大嘗祭(北山) 四 新嘗祭(北山) 五 大嘗祭(北山) 六 新嘗祭(北山) 七 大嘗祭(北山) 八 新嘗祭(北山) 九 大嘗祭(北山) 十 新嘗祭(北山) 十一 大嘗祭(北山) 十二 新嘗祭(北山)	二 大嘗祭(北山) 三 新嘗祭(北山) 四 大嘗祭(北山) 五 新嘗祭(北山) 六 大嘗祭(北山) 七 新嘗祭(北山) 八 大嘗祭(北山) 九 新嘗祭(北山) 十 大嘗祭(北山) 十一 新嘗祭(北山) 十二 大嘗祭(北山)	二 大嘗祭(北山) 三 新嘗祭(北山) 四 大嘗祭(北山) 五 新嘗祭(北山) 六 大嘗祭(北山) 七 新嘗祭(北山) 八 大嘗祭(北山) 九 新嘗祭(北山) 十 大嘗祭(北山) 十一 新嘗祭(北山) 十二 大嘗祭(北山)	二 大嘗祭(北山) 三 新嘗祭(北山) 四 大嘗祭(北山) 五 新嘗祭(北山) 六 大嘗祭(北山) 七 新嘗祭(北山) 八 大嘗祭(北山) 九 新嘗祭(北山) 十 大嘗祭(北山) 十一 新嘗祭(北山) 十二 大嘗祭(北山)
研究欄				

皇紀	1565	1564	1563	1562
年次	乙丑五	甲子四	癸亥三	壬戌二
天皇	關		醍	
先皇	(多宇)		(成陽)	
左内大臣	平		時	
右大臣	隆		邦	
左大將	?			
右大將				
國史重要事項	八 時平ニ詔シテ延喜式ヲ撰修セシム 四 紀友則同貫之等古今和歌集二十卷ヲ撰進ス	八 保明親王ヲ皇太子トス 三 宇多法皇仁和寺ニ移御 朝延ニテ日本紀ノ撰進ヲ催サレ	二 菅原道真筑紫ノ配所ニ薨ズ 八 唐物私易ヲ禁ズ	三 勅旨開田ヲ停メ院宮ノ荒田占有スルヲ禁ズ 十一 諸國ノ備散帳ヲ勅申セシム(政事要略)
神祇史事項	二 新嘗祭(北山) 三 大嘗祭(北山) 四 新嘗祭(北山) 五 大嘗祭(北山) 六 新嘗祭(北山) 七 大嘗祭(北山) 八 新嘗祭(北山) 九 大嘗祭(北山) 十 新嘗祭(北山) 十一 大嘗祭(北山) 十二 新嘗祭(北山)	二 新嘗祭(北山) 三 大嘗祭(北山) 四 新嘗祭(北山) 五 大嘗祭(北山) 六 新嘗祭(北山) 七 大嘗祭(北山) 八 新嘗祭(北山) 九 大嘗祭(北山) 十 新嘗祭(北山) 十一 大嘗祭(北山) 十二 新嘗祭(北山)	二 新嘗祭(北山) 三 大嘗祭(北山) 四 新嘗祭(北山) 五 大嘗祭(北山) 六 新嘗祭(北山) 七 大嘗祭(北山) 八 新嘗祭(北山) 九 大嘗祭(北山) 十 新嘗祭(北山) 十一 大嘗祭(北山) 十二 新嘗祭(北山)	二 新嘗祭(北山) 三 大嘗祭(北山) 四 新嘗祭(北山) 五 大嘗祭(北山) 六 新嘗祭(北山) 七 大嘗祭(北山) 八 新嘗祭(北山) 九 大嘗祭(北山) 十 新嘗祭(北山) 十一 大嘗祭(北山) 十二 新嘗祭(北山)
研究欄				

日本書紀卷之六十五

皇紀	1578	1577	1576	1575
年次	戊寅 一八	丁丑 一七	丙子 一六	乙亥 一五
天皇	醍醐			
先皇	(成 陽) (多 宇)			
右大臣	平 忠 兼			
伯耆	則安區中大	?	覽	兼
國史重要事項	<p>三三 火色ヲ禁ズ 結集子ヲ觀覽アラセ 十二 三善清行卒ス</p>	<p>七 大旱不作群盜横行ス 十二 東大寺講堂災ス 十二 早天ニテ京中ノ井 泉涸ル</p>	<p>八 下野ノ藤原秀郷ヲ配 流セシム</p>	<p>十 天章痘疹ヲ病ミ給フ 痘疹流行大赦ス</p>
神祇史事項	<p>十二 横山明神(從四位下)(類符)</p>	<p>十一 齋院司ヲ任ス(西宮) 諸社新雨奉幣(小右) ○龍穴社奉幣(扶桑) ○近江別浦八幡宮(類符) ○井泉粘 盡シ京畿火多ク祭主大 中臣安則伊勢以下諸社 新雨奉幣(紀略)</p>	<p>〇〇十八七 六二正 二 宇佐使發遣(西宮) ○丹生川上貴布禰社新雨奉幣(西宮) 神寶佛舍利ヲ諸社ニ奉ル(西宮)</p>	<p>四 十一社ニ仁王經轉讀三日間疾疫ヲ禳フ(扶桑) ○齋院恭子内親王ノ穢ニヨリ幣物ヲ獻棄セシム(西宮) 九社新雨奉幣(扶桑) 賀茂石清水社奉幣疾疫及木華ヲ以テナリ(西宮) ○諸社ニ仁王經轉讀痘疹疫 紫宸殿建禮朱雀二門ニテ大威建禮門ニテ疫鬼ヲ祭リ疫瘡ヲ禳フ(紀略) 穢ニヨリ新嘗祭國神二神祭儀禳禱ヲ停ム(世紀)</p>
研究編	研究編			

皇紀	1574	1573	1572	1571	1570
年次	甲戌 一四	癸酉 一三	壬申 一二	辛未 一一	庚午 一〇 延喜
天皇	醍醐				
先皇	(成 陽) (多 宇)				
右大臣	平忠原藤 光				
伯耆	?	王	覽	兼	三
國史重要事項	<p>六五四 四 三 四 三 善清行意見封事十 二ヶ條ヲ上ル 調事檢納ノ制ヲ定ム 京都大火 衣服者修ヲ禁ズ</p>	<p>〇 四 三 新撰萬葉集成ル 大風害ニテ諸國不作</p>	<p>二 二 紀長谷雄薨ス 藤原忠平ニ勅シ延喜 式ノ成ヲ促サシム 十二 京師大火</p>	<p>五 五 勘解由使ヲシテ交替 式ヲ撰修セシム 十 大安寺災ス 十二 大學寮書ノ意宣 ヲ行フ 十二 山城大和等六ヶ國 ノ日次御費ヲ定ム</p>	<p>九七七 諸國大旱ニテ火アリ 宇多法皇延曆寺ニテ 灌頂ヲ受ケテ心御受 戒アラセラル</p>
神祇史事項	<p>〇十八五四正 二 恒例祭祀亂レ神饗幣帛ヲ私スルモノアリ三善清行意見封事ニ記ス(扶桑)</p>	<p>九 七三 伊勢例幣(紀略) 祭主大中臣安則ヲシテ年號ヲ新ラシム(西宮) ○諸社奉幣(紀略)</p>	<p>〇十九七五四二 二 伊勢例幣(紀略) 伊勢神宮新雨奉幣(初見)(神宮) 伊勢神宮新雨奉幣(初見)(神宮)</p>	<p>十六三 二 正 二 山科社ヲ官帳ニ附シ四度幣ニ預ラシム(本朝月令) ○伊勢神宮攝 社田邊氏社ヲ四度幣ニ預ラシム(類符) ○近江小枝社(從四位)美濃東天神(從五位下)(紀略) ○加賀神(從四位下)(紀略) ○神今食ヲ延引攝禰ニヨル(紀略) ○伊勢月次祭ヲ延引攝禰ニヨル(紀略) ○天章御中院ニテ神今食ヲ追行セラル(紀略)</p>	<p>九八七四三二 二 新年祭ヲ停ムラハ攝禰ニヨル(中右) ○越前日野名神(從五位下)(紀略) ○大和龍穴神等ニテ諸國ノ神社名山大川ニ奉幣牲ヲ奉ル(紀略) ○讚岐氏大神(從五位下)(紀略) ○越前日野名神(從五位下)(紀略)</p>
研究編	研究編				

皇紀	1594	1593	1592	1591
年次	甲午 四	癸巳 三	壬辰 二	辛卯 元 承平
天皇	雀			朱
先皇	成			陽
攝政	平			忠
白河	王			忠
國史重要事項	<p>十 追捕海賊使ヲ定ム</p> <p>五 左右京職ヲシテ桑ヲ督植セシム</p> <p>○ 巡檢シテ毎夜京師ヲ依リ南海道海賊ノ事ニ命剛率寺火ヲ定ム</p>	<p>八 右大臣藤原定方薨</p> <p>四 追捕海賊使ヲ定メシム</p>	<p>○ 平將門平良兼ト陸ヲ生ズ</p> <p>十二 不堪個田ヲ開墾セシム</p> <p>九 宇多天皇ヲ山城葛野郡大内山陵ニ葬リ奉ル</p> <p>七 宇多法皇崩御(六五)</p> <p>四 改元</p>	<p>○ 生ズ</p> <p>十二 不堪個田ヲ開墾セシム</p> <p>九 宇多天皇ヲ山城葛野郡大内山陵ニ葬リ奉ル</p> <p>七 宇多法皇崩御(六五)</p> <p>四 改元</p>
神祇史事項	<p>九六五 大神祭使ノ發遣ニヨリ准佛ヲ停ム (北山) ○ 南海ニ賊起リ諸社奉幣ニ不定ヲ新ル (扶桑)</p> <p>四 山陽南海二道ノ諸社奉幣ノ不定ヲ新ル (紀略)</p> <p>三 大行僧祇園天神堂ヲ建ツ (紀略)</p> <p>二 大神宮神嘗直會ニ開闢アリ神祇權大祐大臣臣賴基ヲシテ神宮ニ新謝セシム (大傳)</p>	<p>○ 十九八三 造齊宮使ヲ發遣ス (類符)</p> <p>一 大破(世紀)</p> <p>○ 齊宮ノ難子内親王御病ニヨリ伊勢奉幣ノ事ヲ定ム (扶桑)</p> <p>○ 加賀金劍宮神(正三位) (諸社)</p>	<p>十一 天賀會ニテ御祝(紀略)</p> <p>十 賀茂臨時祭(貞信)</p> <p>九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p>	<p>十二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>十一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>十 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p>
研究欄				

皇紀	1590	1589	1588	1587
年次	庚寅 八	己丑 七	戊子 六	丁亥 五 延長
天皇	雀		陽	
先皇	(陽)		(多 宇)	
攝政	(崇)		忠	
白河	平		安	
國史重要事項	<p>十一 天皇即位</p> <p>九 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>九 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>八 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>七 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>六 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>五 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>四 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>三 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>二 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>一 醍醐天皇崩御(四六)</p>	<p>九 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>八 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>七 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>六 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>五 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>四 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>三 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>二 醍醐天皇崩御(四六)</p> <p>一 醍醐天皇崩御(四六)</p>	<p>○ 諸國風土記成ル</p> <p>六 檀林寺火ク</p> <p>二 小野道風ヲシテ清涼殿南廂ノ粉壁ニ書セシム</p> <p>十一 藤原忠平等延喜格ヲ撰ヒス</p> <p>十二 圓珍ニ智證大師ノ諡ヲ賜フ</p>	<p>十一 藤原忠平等延喜格ヲ撰ヒス</p> <p>十二 圓珍ニ智證大師ノ諡ヲ賜フ</p>
神祇史事項	<p>九八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一〇 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>九 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>八 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>七 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>六 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>五 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>四 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>三 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>二 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p> <p>一 賀茂會ニテ御祝(紀略)</p>	<p>四 中宮賀茂社ニ歌舞ヲ獻セラル (政事) ○ 賀茂祭 (紀略) ○ 從人伊勢大宮御代ヲ從ム (大傳) ○ 八社祈雨奉幣(祈雨日記)</p> <p>十六 伊勢大宮御代ヲ從ム (大傳) ○ 左大臣藤原忠平神祇權大祐大臣臣賴基ヲシテ神宮ニ新謝セシム (大傳)</p> <p>十二 伊勢例幣新奉幣 (西宮)</p>		
研究欄				

皇紀	1602	1601	1600
年次	壬寅 五	辛巳 四	庚子 三
天皇	雀		朱
先皇	成		陽
攝政	平	(白 關)	忠
白伯	?		忠
國史重要事項	三 公卿以下ニ天下ノ政ヲ陳ベシム 十一 新羅船陸來著ス	五 藤原忠文ヲ征西大將軍ニ任ズ 六 藤原純友誅ニ伏ス 豐年ナリ	正 藤原忠文ヲ征東大將軍ニ任ズ二月出發 二 平貞盛、藤原秀郷等將門ヲ誅ス 八 諸國ニ轉國使ヲ分遣ス
神祇史事項	四三二 豐受宮開カザルトセシム ○ 賀茂臨時奉幣 (政事) ○ 賀茂臨時奉幣 (政事)	○ 十一 賀茂臨時奉幣 (政事) ○ 賀茂臨時奉幣 (政事)	○ 十一 賀茂臨時奉幣 (政事) ○ 賀茂臨時奉幣 (政事)
研究欄			

皇紀	1599	1598	1597	1596	1595
年次	己亥 二	戊戌 三 天慶 元	丁酉 七	丙申 六	乙未 五 承平 平
天皇	雀		朱		
先皇	成		陽		
攝政	平		忠		
白伯	?		忠		
國史重要事項	三 大宰府高麗使ヲ部ヲ出羽國俘囚ノ反亂ヲ奏ス 四 平將門反シ關東ヲ押略ス(天慶ノ高)	十 博土大春日弘範曆日ヲ進ム	八 高麗國驛狀ノ回答ヲ定ム 十一 平貞盛ヲシテ平將門ヲ追捕セシム 十一 富士山噴火	六 伊豫守紀淑人寛仁ヲ降セシム 以降ニ南海ノ海賊ヲ歸	○ 九 平將門叔父常陸大掾延曆寺ヲ殺ス ○ 三 延曆寺ヲ殺ス ○ 九 土佐日記成ル
神祇史事項	十一 賀茂臨時奉幣 (政事) ○ 賀茂臨時奉幣 (政事)	○ 十一 賀茂臨時奉幣 (政事) ○ 賀茂臨時奉幣 (政事)	○ 十一 賀茂臨時奉幣 (政事) ○ 賀茂臨時奉幣 (政事)	○ 十一 賀茂臨時奉幣 (政事) ○ 賀茂臨時奉幣 (政事)	○ 十一 賀茂臨時奉幣 (政事) ○ 賀茂臨時奉幣 (政事)
研究欄					